

香川縣小學校
教員檢定
試驗問題答案

讚岐 開益堂發行

中等教育研究会編



049833-000-0

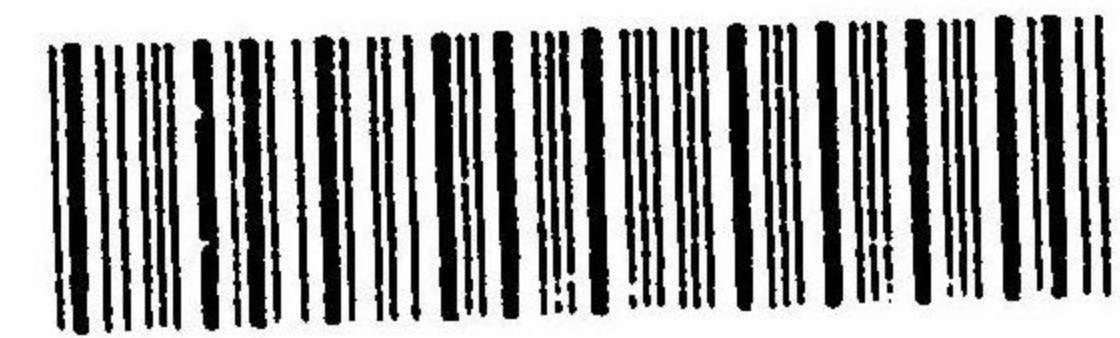
特26-198

香川県小學校教員檢定試験問題答案

中等教育研究会／編

M41

BEM-0567





緒言

一、本書は小學校教員試験檢定に應ぜんとするものゝために編蒐したるものなり

一、本書載する所の問題は香川縣に於て施行せられしものにて、明治三十八年度前期より全四十一年度に亘れる廻回分を包含せり

一、本書所載の答解は單にその一例として最近四十一年度分に止めたり。由來本書は受験者をして問題解答の要領を會得せしむる外に、各年度に於ける出題の縣裁方針等を

も知らしめ、両々相俟ちて研學の資に供せんことを務め
たればなり

明治四十一年八月

編者 藤野野矢

香川県 教員 檢定試験問題目次

小學校本科正教員

修身科	問題之部	一	解答之部	一
教育科	(原理)	三	一	一
全	(教授法管理法令)	六	一七	一七
國語科	(讀解)	八	二二	二二
全	(文法)	一五	二六	二六
全	(作文)	二〇	三三	三三
全	(習字)	二一	二一	二一
漢文科		二三	三七	三七
數學	(算術)	二九	四〇	四〇

全	(代數)	三五	四三
全	(幾何)	四〇	四八
物理學		四三	五八
化學		四六	六四
博物	(動物)	四九	六八
全	(植物)	五一	七〇
全	(礦物生理)	五三	七三
地理科		五五	七六
歷史科		五八	八二
簿記		六〇	
體操科		六六	八六
圖書科		七〇	

尋常小學校本科正教員

修身科	七三	九一	
教育科 (原理)	七四	九五	
全	(教授法管理法)	七六	一〇〇
國語科 (讀解)	七八	一〇七	
全	(文法)	八四	一〇八
全	(作文)	八八	一一一
全	(習字)	八九	
算術科	九〇	一一五	
物理化學	九八	一二七	
博物科	一〇〇	一二三	
	問題之部	解答之部	

地理科	一〇二
歷史科	一〇四
體操科	一〇七
國畫科	一〇〇

小學校本科准教員

修身科	一一三
教授法	一一三
國語科 (讀解)	一一五
全 (作文)	一一二
全 (習字)	一一三

算術科	一一三
理化 (物理化學)	一一三
全 (博物)	一一三
地理科	一三五
歷史科	一三八
國畫科	一三九
體操科	一四一

尋常小學校本科准教員

修身科	一四二
教授法	一四三

- (三) 兒童良心の發達と修身科教授との關係
- (四) 日本臣民の義務と權利との大要を説け

明治三十九年度

- (一) 道徳上の本務と法律上の義務との異同
- (二) 剛毅の徳を養ふ法
- (三) 所謂「三權分立」につき考ふる所を述べよ
- (四) 我國現今の社會に於て最缺乏せりと思ふ徳は何か

明治四十年度

- (一) 時代精神と道徳上の理想との關係
- (二) 法律の精神と道徳の精神相異なるか
- (三) 地方自治團體とは何か
- (四) 陛下殿下の教稱は如何なる場合に用ふべきか
- (五) 教師としての修養上最も注意を要すと思ふことを述べよ

明治四十一年度

- (一) 法律上の義務と道徳上の本務との異同
- (二) 行爲の動機及結果の意識
- (三) 父爲子隱子爲父隱直在其中矣」とは何の謂か
- (四) 帝國憲法上の統治機關及其職務權限の大要

教育科 (原理) 明治三十八年度前期

- (一) 感情の性質及感情が知識意志に及ぼす影響を述べよ

- (一) 獨立自治の精神を養成するにつきて教授上及び訓育上注意すべき要點を記せ
 - (二) 論理次の斷定の關係を説明すべし
 - い 全稱肯定と全稱否定との關係
 - ろ 全稱肯定と特稱否定又は全稱否定と特稱肯定との關係
 - (三) 教育史上實利主義につきて其の長短所を指摘し且其の主張者二名をあげよ
- 全年度後期
- (一) 慾望の性質を述べて教育上の注意に及べ
 - (二) 從順の徳を要求するは兒童をして卑屈ならしむとの説ありこれに對して各自の意見を述べよ
 - (三) 命題轉換法につき例をあげて説明せよ
 - (四) カントの教育主義の大要を述べよ

明治三十九年度

- (一) 勇を説明し併せて勇を養ふ方案を立てよ
 - (二) 如何なる概念を確實なりといふべきか
 - (三) 教授と訓練との關係を述べよ
- 明治四十年度
- (一) 教育の限界を述べて教育者の覺悟を明にせよ
 - (二) 學校園の目的を説明せよ
 - (三) 名辭の内包と外近との意義及兩者の關係を説明せよ
- 明治四十一年度
- (一) 生徒の意志を練磨する方法を述べよ
 - (二) 歸納法と演繹法との關係を説明せよ
 - (三) 教授段階につきて意見を述べよ

教育科

(教授法管理法令)

明治三十八年度前期

- (一) 教授の形式の意義及種類を述べその各式を用ふべき場合を記すべし
- (二) 地理を學習すれば如何なる効果あるか又我小學校に於ける地理教授の要旨如何
- (三) 尋常小學校設置に關する現今の制度及小學校費に對する國家の補助を説明すべし

全年度後期

- (一) 教科書の使用法につきて注意すべき點を述べよ
 - (二) 歴史科の要旨を説明せよ
 - (三) 小學校令施行規則第一條をあげよ
但し趣旨だけをあげてよろし
 - (四) 學校長及教員の職權につきて法令の規定如何
- 明治三十九年度
- (一) 法二位の乗算(筆算)を初めて授くる教案を立てよ

- (二) 手工科の價値を説明せよ
 - (三) 男女共學の利害を論ぜよ
 - (四) 理想的便所の位置(學校に於ける)及び構造を詳説せよ
- 明治四十年年度
- (一) 暗算を課する目的及これを課すべき場合を述べよ
 - (二) 幼稚園の性質を問ふ
 - (三) 男女混合教育の利害を論ぜよ
- 明治四十一年度
- (一) 筆算に於て初めて二位の乗法を授くる教案を立てよ
 - (二) 學校便所の設備及びその管理法を述べよ

國語科 (讀解) 明治三十八年度前期

(一) その道の程三十餘里が間には絶えて人里もなかりければ或は高峰の雲に枕を敬て苔の薙に袖を敷き或は岩漏る水に渴を忍びて朽ちたる橋に肝を消す山路もどより雨なくして空翠常に衣を濕す見上ぐれた萬仞の青壁刀に削り見下せば千丈の碧潭藍に染めり數日の間かゝる峻難を経させ給へば御身の草臥ればてゝ流るゝ汗水の如し御足は缺け損じて草鞋皆血に染まれり御伴の人々もその身鐵石にあらざれば皆々飢ゑ疲れてはかゝしくも歩み得ずたゞ御腰を推し御手を引きて路の程十三日に十津川へぞ着かせたまひける

(全文解釋)

(二) 慕振勇士之名歌一首並短歌

ちのみの父のみことはそばの母のみことおほるかに心つくして思ふらひその子なれやもますらをや空しかるべき梓弓末ふりちこしくやもち千尋いわたし劍太刀腰にとりはき足引のやつを踏み越えさしまくる心さやら

す後の世の語りつぐべく名を立つべし

返歌

ますらを名をし立つべし後の世に聞きつぐ人も語りつくかね(全文解釋)

(三) 現代文學を概説せよ

全年度後期

(一) 若し跡の白波に身をよする朝には岡のやに行きかふ船をながめて蒲沙彌が風情をめすみ若し桂の風葉をならす夕には潯陽の江をおもひやりて源都督のながれをならふもしまりの興あらばしはし松のひびきに秋風の樂をたぐへ水の音に流泉の曲をあやつる藝はこれ拙けれども人の耳を悦ばしめん

望不盡山歌

山部赤人

あめづちのわかれし時ゆかひさびて高きたふときするがなるふじのたかねを天のはらふりさけ見ればわたる日の影もかくろひてる月の光もみえず白

雲もいゆきはじかりとさじくを雪はふりける語りつきいひつぎゆかむふ
のたかねは

返歌

田子の浦ゆうちいで見ればましろにぞふじの高根に雪はふりける

興謝蕪村

ところでん逆さまに銀河三千尺

以上第一問第二問全部解釋

(三) 足利時代の文學を説明すべし

明治三十九年度

(一) 爲朝は白峯に詣で石の玉垣の斜なる扉を押し開きて躊躇して申すやう君
十善万乘の聖主として錦帳を北闕の月に輝したまひしも今は懷土望郷の魂
玉體を海南の俗に混ず露を拂つて御跡を尋ね奉れば秋草泣いて涙を沃ぎ嵐
に向ひて君が墓を問へば老檜悲んで心を傷ましむ佛儀は見えずして唯朝の

雲夕の月を見る法音は聞えず唯松の響鳥の語を聞く軒傾きては曉の風寒く
變破れては夜の雨防ぎ難し昔今の御有様いと痛ましても淺ましとも思ひ奉
れども微臣が孤忠を述ぶるに由なく既に勢竭き力究まりて今生の誠忠を訴
へ後生の苦樂を共にし奉り君につれなかりつるものどもを悉くとり殺さば
やと思ふのみ圖らずも大鳥を流れさて尊靈々驚かし奉るものなりと申しも
はてす涙を潸然と落しつ時に兒が嶽のかた叢雲たなびきて月は半面をあら
はしながら影いと暗く電まなく閃きて御墓の中に散徹し山下の風いとすさ
まし

(二) 和歌の浦にしほみちくればかたをなみ

あしべをさしてたづなきわたる (山部赤人)

大井川かへらぬ水にかげみえて

ことしもさけるやまざくらかな (香川景樹)

春の海ひねもすのたりのたりかな (興謝蕪村)

以上第一問第二問共に解釋

(三) 鎌倉時代文學の狀況を述べよ

明治四十年度

(一) 吉野の主上は天の河の奥賀名主といふ所に僅なる黒木の御所を造りて御座ればかの唐堯虞舜の古茅茨剪らず柴椽削らざりし淳素の風もかくやと思ひ知られて誠なる方もありながら女院皇后は柴葺く庵の怪しさに軒漏る雨を禦ぎかね御袖の涙ほす隙なく月卿雲客は木の下岩の陰に松の葉を葺きかけ苔の莖を片敷きて身を措く宿とし給へば高峯の嵐吹き落ちて夜の衣をかへせども露の手枕寒ければ昔を見する夢もなし況んや其の郎従眷屬たるものは墓山の薪を拾ひては雪を戴くに膚寒く幽谷の水を掬んでは月を擔ふに肩瘦せたりかくては一日片時もあり長らへむ心地もなければ流石に消えぬ露の身の命あらばと思ふ世に憑みをかけてや残るむ

(二)

思子等歌

山上憶良

瓜はめばこどももほゆ栗はめばましてしぬはゆいづくより來りしものを
まなかはにもとなかかりてやすいしなまぬ

反歌

しろ金もこがねもたまも何せむにまされる寶子にしかめやも

吉野にて

八田知紀

吉野山かすみのおくはしらねども見ゆるかぎりはさくらなりけり

以上二問は詳解すべし

(三) 左の書名人名を年年順に配列せよ

西行法師 藩翰譜

古今和歌集 徒然草

加茂真淵 僧空海

大鏡 一條兼良

谷口蕪村 太平記

古事記傳 近松門左衛門

明治四十一年度

(一) 左の文章を解釋すべし

シテ「天の原ふりさけ見れば霞たつ雲路迷ひてゆくへ知らずも。地」住みなれし空にいつしかゆく雲の羨しき景色かな迦陵頻伽のなれなれし聲いま更にはつかなる雁がねの歸りゆく天路をさけば懐しや千鳥鷗の沖つなみゆくか歸るか春風の空に吹くまでなつかしや。ワキ詞「いかに申し候ふ御姿を見奉れば餘に御痛はしく候ふ程に衣を返し申さうずるにて候ふ。シテ詞「あら嬉しやこなたへ給はり候へ。ワキ「暫く承り及びたる天人の舞樂唯今こゝに奏し給はゞ衣を返し申すべし。シテ「うれしやさては天上に歸らむことをえたりこの悦にとてもさらば人間の御遊の形見の舞月宮を廻らす舞曲あり唯今こゝにて奏しつゝ世のうき人に傳ふべしさりながら衣なくては叶ふまじさりとてはまづ返したまへ。ワキ「いや此衣を返しなば舞曲をな

さてそのまゝに天にや上り給ふべき。シテ「イヤ疑は人間にあり天に儂なきものを。ワキ「あらはづかしやさらはとて羽衣をかへしあたふれば。シテ「少女は衣を着しつゝ霓裳羽衣の曲をなし。ワキ「天の羽衣風に和し。シテ「雨にうるほふ花の袖。ワキ「一曲をかなで。シテ「まふとかや」地「東あそびのするが舞この時やはじめなるらむ。

(二) 左の韻文を評釋すべし。あらうみや佐渡によこたふ天の川。ものゝぶの波に射ひかふあもかげもうかぶやしまのゆみはりの月。春といへどまだ口もとのまむさになやけさは齒の根もあわ雪どふる。

(三) 本縣内に行はるゝ方言の主なるもの貳拾語を列舉すべし

國語科 (文法) 明治三十八年度前期

(一) 左の文章どもを文章法によりて解剖せよ

甲天下を保ち國土を治むる謀は文を左にし武を右にすと見えたり

乙人生僅に五十年といはずや

(二) 左の文章どもの誤を正し且つその理由を附記せよ

甲霜いとしろふをける朝やり水より煙のたつこそあかしき

乙日英同盟の成立は明治三十五年二月十二日貴族院にて公にされわが國到

るところ官民の之を祝さるるものなき

(三) 靜助詞を分類せよ

全年度後期

(一) 國文國文法は時代によりて變遷するものなりや否や之を説明せよ

(二) 「有る」といふ動詞には二種の活用ありといふ其の異點をあげて辨別せよ

(三) 左の文章を分類して見よ

禍福の萌その始は甚だ微なり故に庸人はこれを慢りてゆるかせにす賢者は
その始を見て終を知る

(四) 左の文章を各成分に解剖し且つ其の省略せられたるものは之を補ひ顛倒せ

るものは其の正位に復して見よ

知らざりき秋の半の今宵しもかゝる旅寝の

月を見むとは

明治三十九年度

(一) 左の動詞どもの自他を區別して見よ

讀む	泣く	光る	學ぶ	消ゆ	走る
習ふ	汲む	賞む	死ぬ	來る	植う
照る	報ゆ	蹴る	見る	射る	曇る
落つ	返す	勝つ	授く	載す	賜ふ

(二) 次の二文章の假名遣の誤れるは正し傍線を施したるには假名を附けよ

イ、魚を商う翁鯉と榮螺と鯉と鰻と烏賊とを桶に入れて買ひ給えやと賣り
あゝるく

ロ、われは今宵藍にて石井と染出たせる手拭をかふどりたる田舎人に遇ひ

たり君の噂し給うは或はその人のことならむ

(三) 左の諸文章中に誤あらば之を正し合せて其理由を述べよ

イ、これは人に見するものにあらす

ロ、この品は高ければ十錢安くば八錢ならむ

ハ、朝寝して人に笑はるゝ

ニ、明暦の江戸の大火は未曾有なりきとぞ古老も申せし

ホ、七重八重花は咲けども山吹のみの一だになきぞ悲しゝ

(四) 左の二文章を各成分に解剖し且つ其の省略せられたるものは之を補ひ顛倒せるものは其の位に復して見よ

イ、汝は美しき親鳥が度々愛らしき雛に少なき餌を與ふるを見しか

ロ、春は咲き冬は氷る

明治四十年度

(一) 假名遣とは何か之に就いて諸氏の異見をも述べよ

(二) 日本文法に於いて固有名詞普通名詞などの分類を知り置く必要あるか有無ともに理由を詳述せよ

(三) 動詞の語尾に動助詞を添ふる法則を問ふ但し動助詞は知れる限りを擧ぐべし

(四) 單語句節文とは如何なるものを謂ふか且つそれ等各個の種類をも例を擧げて説明すべし

明治四十一年度

(一) 動詞九種の活用を表示せよ

(二) 動助詞(助動詞)を其意義によりて分類し且其活用を表示せよ

(三) 例を擧げて辭助詞(てにをは)に、と、を、なむ、の用法を説明せよ

國語科 (作文) 明治三十八年度前期

- (一) 祝捷會の祝辭(普通文體)
- (二) 奮鬥人の怠惰を誡むる文(書簡文體)
右は毛筆にて各題別紙に認むべし
明治三十八年度後期
- (一) 大觀艦式を想ふ(普通文體)
- (二) 小學校教員の任務に就きて問はれしに答ふる文(書簡文體)
明治三十九年度
- (一) 我等は大國民なり(普通文體)
- (二) 教育茶話會を催すに就いての回章(書翰文體)
明治四十年 明治四十年 度
- (三) 演説の要領を問はれしに答ふる手簡

(二) 余が最も信仰せる人物の傳
明治四十一年度

(一) 普通文 國民教育の必要を論ず
候文 寒氣見舞の文

國語科(習字) 明治三十八年度前期

- 道義相投有餘樂賓主交照無繁文
- 右楷行草各紙に書すべし
明治三十八年度後期
- 閑爲水竹雲山主靜得風花雪月權
- 右楷行各紙に書すべし
- 敷島の大和心を人とは

あさひにはほふ山さくら花

右字體適宜

明治三十九年度

道義相投有餘樂賓主交照無繁文

右楷行二体各紙に書すべし

折りくりに遊ぶいとまはある人のいとまなしとて文よまぬかな

右書体適宜

明治四十年度

華山衡岳勝境臥遊毓靈力田琴歌劍器

右楷行各紙に書すべし

ますらとは名をし立つへし後の世にさつく人もかたりつくかね

右字體適宜

明治四十一年度

眼看蜻洲一片雲須臾去作三韓雨

右楷行書三体各紙に書すべし

いでや人々強者となれやなりてこの國つよからしめよ

右假名字體適宜

漢文科

明治三十八年度前期

(一) 天下之勢譬如一身王公貴人所以養其身者豈不至哉而其平居常苦於多疾至農
 夫小民終歲勤苦而未嘗告病此其故何也夫風雨霜露寒暑之變此疾之所由生也
 農夫小民盛夏力作而窮冬暴露其筋骸之所衝犯肌膚之所浸漬輕霜露而狎風雨
 是故寒暑不能爲之毒今王公貴人處於重屋之下出則乘輿風則襲裘雨則御蓋凡
 所以慮患之具莫不備至畏之太甚而養之大過小不如意則寒暑入之矣是故善養

身者使之能逸而能勞步趨動作使其四體狃於寒暑之變然後可以剛健疆力涉險而不傷

右句讀返り點及び送假名を附せよ

- (1)
- (二) 露國第二艦隊佛領の港灣に泊す
- (2) 佛國將に中立を嚴守せんとす
- (3) 敵艦の進退維れ谷まる
- (4) 戦はずして勝つを上策と爲す

右漢譯す可し

明治三十八年度後期

- (一) 人不可以無恥無恥之恥無恥矣
- (二) 於不可已而已者無所不已於所厚者薄無所不薄也其進銳者其退速
- (三) 存乎人者莫良於眸子胸中正則眸子瞭焉胸中不正則眸子眊焉聽其言也觀其眸子人焉廋哉

- (四) 趙穿弑君大惡也盾不討賊不能爲君復讐而失刑於下二者輕重不較可知就使盾爲可責然穿焉得免也今免首罪爲善人使無辜者受大惡此決知其不然也
- (五) 他植者則不然根拳而土易其培之也若不過焉則不及苟能有及是者則又愛之太恩憂之太勤且視而暮撫已去而復顧甚者爪其膚以驗其生枯搖其本以觀其疎密而木之性日以離矣

- (六) 輪輻蓋軫皆有職乎車而軾獨若無所爲者雖然去軾則吾未見其爲完車也軾乎吾懼汝之不外飾也天下之車莫不由轍而言車之功轍不與焉雖然車仆馬斃而患不及轍是轍者禍福之閭轍乎吾知免矣

- (一)(二)(三)問は訓點を附して解譯す可し
- (四)(五)問は訓點を附けよ

明治三十九年度

- (一) 所惡於智者爲其鑿也
- (2) 天作孽猶可違

- (3) 爲叢毆爵者鷓也
- (4) 周人百畝而徹
- (5) 人之有德慧術智者恒存乎疾疾
- (6) 他人有心付度之
- (7) 私龍斷
- (8) 嗥爾而與之行道之人弗受
- (9) 治地莫善於助
- (10) 權然後知輕重

(二) 嗚呼彼豈獨於噲不仁耶且噲與常偕起拔城陷陣功不爲少矣方亞父嗾項莊時微噲謂讓羽則漢之爲漢未可知也一旦人有惡噲欲滅戚氏者時噲出伐燕立命平勃即軍中斬之夫噲之罪未形也惡之者誠僞未必也且高帝之不以一女斬天下功臣亦明矣彼其娶於呂氏呂氏之族若產祿輩皆庸才不足恤獨噲豪健諸將所不能制後世之患無大於此矣夫高帝之視呂后也猶醫者之視壘也使其毒可以治病而無

至於殺人而已矣樊噲死則呂后之毒將不至於殺人高帝以爲是足以死而無愛矣

右第一問は解釋第二問は返り点送り假名及び其大意を和譯す可し

明治四十年度

- (一) 君子深造之以道欲其自得之也自得之則居之安居之安則資之深資之深則取之左右逢其原故君子欲其自得之也
- (二) 雖有天下易生之物也一日暴之十日寒之未有能生者也吾見亦罕矣吾退而寒之者至矣吾如萌焉何哉
- (三) 萬物皆備於我矣反身而誠樂莫大焉強怒而行求仁莫近焉
- (四) 齊人有一妻一妾而處室者其良人出則必饜酒肉而後反其妻問所與飲食者則盡富貴也其妻告其妾曰良人出則必饜酒肉而後反問其與飲食者盡富貴也而未嘗有顯者來吾將嚼良人之所之也蚤起施從良人之所之徧國中無與立談者卒之東郭墻間之祭者乞其餘不足又顧而之他此其爲饜足之道也其妻歸告其妾曰良人者所仰望而終身也今若此與其妾勸其良人而相泣於中庭而良人未之知也施施

從外來驕其妻妾由君子觀之則人之所以求富貴利達者其妻妾不羞也不相泣者幾希矣 右の文章に返り點及送り假名を附し且其大意を譯述すべし

明治四十一年度

(一) 盡信書則不如無書、今茅塞子之心矣、城門之軌兩馬之力典、說大人則藐之強恕而行求仁莫近焉、夫豪傑之士雖無文王猶興、君子有三樂而王天下不與存焉、不盈科不行、殷鑒不遠在夏后之世、尙友、

右の字句の意義を詳解すべし、

(二) 棄天職天者其責在我逆天者其責在人我者吾將盡吾力之所能爲者以塞夫天之所以與我之意而求免夫天下後世之譏在人者吾何知焉吾求免夫一身之責之不暇而暇爲人憂乎哉

右文章に返り點及び送り假名を附し且つ其意義をも解答すべし

(三) 已、已、已、析、折、折、釣、釣、稗、稗、戊、戊、戊、飾、飭、辨、辨、辨、地、地、地、

右文字の音及び訓を解答せよ

數學 (算術)

明治三十八年度前期

(3) 六牛ニテハ三日間ニ十牛ニテハ一日半ニ或牧草ヲ喰ヒ盡シ得之ヲ二日間ニ喰ヒ盡シ得ベキ牛ノ頭數如何 但草ハ一樣ニ生ズルモノトス

(4) 次式ヲ最簡ニセヨ

$$\left\{ \frac{2}{3} \times \frac{3}{4} + \frac{2}{5} \times \frac{5}{6} \right\} + \left\{ \frac{2}{3} \times \frac{3}{4} - \frac{2}{5} \times \frac{5}{6} \right\}$$

(5) 或人家産ノ二分ノ一ヲ長子ニ三分ノ一ヲ次子ニ四分ノ一ヲ三子ニ五分ノ一ヲ末子ニ與ヘント欲ス然レトモ此配分法ハ實行スルコト能ハズ其理ヲ說明セヨ又問フ家産ノ全額ヲ七千七百圓ナリトシ上ニ出セシ分數ノ比ニ分ツトキハ各ノ取前如何

(6) 九月十二日ニ支拂フベキ金五千圓ノ納束手形ヲ七月廿四日ニ日歩貳錢七

厘ニテ割引ナルトキハ其交際金幾何ナルカ

(珠算)

明治三十八年度後期

(一) 次の金高の合計如何(速算)

五百參拾九圓八拾九錢七厘、百六拾圓拾錢九厘

五百九拾九圓九拾九錢七厘、

四百九拾八圓九拾七錢九厘、貳百五圓壹錢八厘

五百九拾六圓參拾七錢五厘、貳百九拾圓四拾貳錢五厘

次の里程の合計如何(速算)

三十七里十一町四十九間、五十二里廿五町三十七間、

四十七里十九町四十八間、六十二里十六町四十八間、

三十六里廿七町廿四間、七十二里廿三町卅四間、

(續算)

(3) 成人所持金ノ内ヨリ其五分ノニト六拾圓トヲ費セシニ又初ノ所持金ノ三

分ノニテ得タル故ニ初ノ所持金ニ復セリトイフ初ノ所持金如何

(4) 道程三里ノ所ニ物ヲ運送スルニ牛車六輛ト馬車八輛トヲ用フレハ九日ヲ要ストイフ若シ此物ヲ三里二十町ノ所迄十三日間ニ運送セシニハ牛車二輛ト馬車何輛ヲト用フヘキカ但牛車ト馬車トノ載重ノ比ハ五ト四トノ如ク又速ノ比ハ二ト三トノ如シ

(5) 二斤入ノ箱ニ一斤拾壹錢ノ砂糖豆ト拾五錢ノ金米糖トヲ入レ參拾六錢ニ賣リ六錢ヲ利セリ但箱ノ代價ハ其内ノ品ノ原價ノ四分ノ一ナリトイフ各混合ノ斤數如何

(6) 年利若干ノ複利ニテ金千六百圓ガニケ年間ニ金千七百六十四圓ニナルリトイフ利息ノ歩合如何

明治三十九年度

(3) 新橋ヨリ午前十時ニ發スル列車ハ午前一時十五分ニ國府津ニ達シ國府津ヨリ午前六時十五分ニ發スル列車ハ同十一時三十分ニ新橋ニ着スベシトイ

ノ電車ノ出會ヒシ時刻如何

(4) 半紙一帖ハ、二十枚美濃紙一帖ハ四十八枚ナリ巾八寸長サ一尺一寸ノ半紙一帖ノ價ヲ壹錢八厘トシ巾九寸二分長サ一尺三寸三分ノ美濃紙一帖ノ價ヲ拾貳錢五厘トスルトキハ半紙ニラ貼レバ四錢五厘ヲ要スル面積ヲ貼ルニ要スル美濃紙ノ代價同程ナルカ

(5) 或取引所ニラ役員賞與金八千五百圓ヲ理事長5 三人ノ理事1 同3 支人4 其他6 ノ割合ニ配分セリトイフ理事長ノ取前如何

(6) 或書籍ノ元價ハ定價ノ外三割五分ニ當レリ今之ヲ定價ノ内二割引ニラ賣レトキハ元價ニ對スル利益ノ歩合如何

(珠算) 明治四十年度

(一) 百四拾貳圓八拾五錢七厘、四百廿八圓五拾七錢壹厘
貳百八拾五圓七拾壹錢四厘、八百五拾七圓拾四錢貳厘
五百七拾壹圓四拾貳錢八厘、七百拾四圓貳拾八錢五厘

以上の合計を求めよ (速算)

(二) 七町八段九畝貳拾八歩、六町六段九畝拾歩
七町貳段五畝拾五歩、四町壹段拾貳歩

以上の合計を九倍し其結果を五にて割れ (速算)

(筆算)

(三) 甲乙の二人A Bの各地より同時に出立し(毎日の速度甲は拾四里乙は拾壹里とす) 往路はCにて會し歸路はDにて會せり其C Dの距離を拾貳里なりとせばA Bの距離は幾何となるか

(四) 混循環小數を分數に直す法則の理由を0.34301なる例に就きて説明せよ

(五) 白米小賣相場壹圓に付一等米參升六合二等米參升九合三等米四升六合なるときは一等米と三等米とを如何なる割合に混合せば二等米と同價の米を得べしか

(六) 年利若干の複利にて金貳百四拾圓を參年間貸し參拾七圓八拾參錢の利息を得

得たりと云ふ此年利幾何なるか

特に第五問は式第三第六の二問は式及び説明を併記すべし

明治四拾壹年度

各題共簡單なる説明をなし運算を明記せよ

- (三) 或る人地面參千五百坪を金若干圓にて買ひ之を或直段に賣りて貳千百七拾圓を損せり若し坪拾圓に賣りしならんには五千四百貳拾五圓を利せしならんと云ふ壹坪の原價及賣價幾何なるか
- (四) 英國壹磅金貨の品位は貳拾貳「カロット」にして全重量七瓦九八八なり、吾國にては純金貳匁を以て拾圓とす、英の壹磅は吾何圓何錢何厘なるか
- (五) 振子の振動時間は其の長さの平方根に比例す、貳秒時間に壹振動する振子の長さ九百九拾參「ミリメートル」ならば長さ貳「メートル」半の振子は幾秒時間に二振動するか(小數第四位まで求めよ)
- (六) 或人初日は參拾七錢第二日は其貳倍第三日は第二日の貳倍と順次前日の貳

倍の額を貯金せり第拾壹日目には貯金合計何程となりしか

數學(代數)

明治三十八年度前期

- (1) 上下兩種ノ酒ヲ混合セル甲乙兩種ヲリ甲樽中ニヲハ上下ノ割合ニノ七ニ於ケル如ク乙樽中ニヲハ上下ノ割合ニノ五ニ於ケル如クシトイフ今上酒ニ石ト下酒六石トノ混合酒ヲ造ラントスルニハ各樽中ヨリ何程ヲ採ル可キカ
- (2) 次式ヲ最簡ニセヨ

$$\left\{ \begin{array}{l} x-y - \frac{1}{x-y + \frac{xy}{x-y}} \\ \frac{x^2-y^2}{x^3-y^3} \end{array} \right.$$

- (3) 次ノ聯立方程式ヲ解ケ

$$\frac{xy}{ay+bx} = \frac{b}{a} \quad \cdot \quad \frac{xy}{ax+by} = \frac{a}{b}$$

- (4) $(x-5)(x-6) + (x-4)(x-7) = 10$ ヲ解ケ
- (5) $\sqrt{2x+8} + 2\sqrt{x+5} = 2$ ヲ解ケ

題集三十六年算術

(1) 甲乙兩人ニテ一回一哩ノ競争ヲナセリ第一回ニ於テハ甲ハ乙ニ二十碼ノ先發ヲ與ヘテ三十秒ノ勝ヲ制セリ第二回目ニ於テハ甲ハ乙ニ三十二秒ノ先發ヲ與ヘテ九ト一分ノ五碼ノ勝ヲ制セリトイフ甲ガ毎時ニ走ル距離如何但一哩ハ千七百六十碼ナリ

(2)
$$\frac{4x^2 - 16x + 15}{2x^2 + 3x + 1} \times \frac{x^2 - 6x - 7}{2x^2 - 17x + 21} \times \frac{4x^2 - 1}{20x + 25}$$
 フ最簡ニセヨ

(3)
$$\frac{a+c}{x+2b} + \frac{b+c}{x+2a} = \frac{a+b+2c}{x+a+b}$$
 フ解ケ

(4) $x^2 + ax + b = 0$ ナル方程式ノ根ノ差ガ $x^2 + bx + q = 0$ ナル方程式ノ根ノ差ニ等シキトキハ a, b, q ノ間ニ $a^2 - 4b = p^2 - 4q$ ナル關係アルニトテ證明セヨ

(5) $(x^2 + x)^2 - 22(x^2 + x) + 40 = 0$ フ解ケ

明治三十九年算

(1) 甲乙二人同時ニ七十六里二十四町ナル圓形ノ道路ヲAヨリ左右ニ別レテ

Bニ至ルアリ甲ハ汽車ニテ遠路ヲ行キ乙ハ馬車ニテ近路ヲ行クニ汽車ノ速度ハ馬車ノ三倍ニシテ乙ハ甲ヨリ二十分前ニBニ達ス然ルニ今汽車ハ途中Cニ立寄り同所ニ於テ汽車ノCヨリBニ至ル時間停車シ其後Bニ着スル時ハ馬車ノAヨリBニ至ル時間ノ二倍ヲ費スベク又若シ馬車途中ニテ一時間滞在シBニ着スル時ハ汽車ハBニ至リCヨリBニ着シ再ビBヨリCノ半途ニ至ルベシトイフAB, BC, CAノ各距離及馬車一時間ノ速度幾何ナルカ

(2) 次式ノ最小公倍数ヲ求ム

$$x^2 - 7xy + 12y^2, x^2 - 6xy + 8y^2, x^2 - 5xy + 6y^2$$

(3)
$$\frac{4x-17}{x-4} + \frac{10x-13}{2x-3} = \frac{8x-30}{2x-7} + \frac{5x-4}{x-1}$$
 フ解ケ

(4) $ax^3 - (a^2 + 1)x + a = 0$ フ解ケ

(5)
$$\frac{x + \sqrt{12a^3 - x}}{x - \sqrt{12a^2 - x}} = \frac{a+1}{a-1}$$
 フ解ケ

明治四十年度

(一) 兎ノ百貳拾跳ビニ當ル距離ヲ隔テタル兎ヲ追フ犬アリ兎ガ六跳スル間ニ犬ハ五跳ビシ兎ノ九跳ビト犬ノ七跳トハ其行程相等シト云フ犬ガ幾跳ビセバ兎ニ追ヒ着クカ

(二) $a^2 + b^2 + c^2 - bc - ca - ab$ ガ零トナルハ實數 a, b, c ガ如何ナル關係ヲ有スル時ニ限ルカ

(三) 次式ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{x+c}{x^2-(a+b)x+ab} + \frac{x+b}{x^2-(a+c)x+ac} + \frac{x+a}{x^2-(b+c)x+bc}$$

(四) $ax^2 + bx + c = 0$ ノ兩根ノ和及ビ積ヲ表ハス公式ヲ作レ

(五) 直角三角形アリ其直角ヲ夾ム二邊ノ和ハ七寸ニシテ直角ノ頂點ヨリ斜邊ニ引ケル垂線ノ長サハ貳寸四分ナリト云フ各邊ノ長サ幾何ナルカ
各問トモ演算及ビ説明ヲ記スルニ

明治四十一年度

(1) $A^3 + B^3 + C^3 - 3ABC$ ヲ $A + B + C$ ニテ割レ

(2) 酒壹石貳斗ト水壹石八斗トヲ混合シタルモノヲ甲液 酒九斗水參斗トヲ混合シタルモノヲ乙液ト名ヅク。今酒七斗水七斗ヨリ成ル混合液ヲ造ルニハ甲液乙液各幾何ヲ要スルカ

(3) $\frac{x + \sqrt{x^2 - 1}}{x - \sqrt{x^2 - 1}} - \frac{x - \sqrt{x^2 - 1}}{x + \sqrt{x^2 - 1}} = 8\sqrt{x^2 - 1}$

(4) 茲ニ若干個ノ異色ノ球アリ。其内ヨリ四個宛探リ出ス組合ノ數ハ幾個宛探リ出ス組合ノ數ノ貳倍ナリト云フ球ノ數何個ナルカ。又四個宛探リタル組合ニ於テ或ル一ツノ球ノ探リ出サルハ度數ハ何回ナルカ

(5) $\sqrt{0g}ABC = \sqrt{0g}A + \sqrt{0g}B$
 $\sqrt{0g} \frac{A}{B} = \sqrt{0g}A - \sqrt{0g}B$ ナルコトヲ證セヨ

數學(幾何)

明治三十八年度前期

- (一) 矩形ノ玉突盤ノ四邊ヨリ反跳シ出發點ニ回歸セシメンニハ小球ヲ何レノ方向ニ突撃スヘキカ且其徑路ノ長サ如何
- (二) 四ツノ直線相交リテ成ヌ四個ノ三角形ノ外接圓ハ同一ノ點ヲ過ル
- (三) 三角形ノ二ツノ邊ノ上ノ正方形ノ和ハ底邊ノ半分ノ上ノ正方形及頂點ヨリ底邊ノ中點ヘ引ケル直線ノ上ノ正方形ノ和ノ二倍ナリ
- (四) 同シ圓ニ内接スル正方形及正六邊形ノ邊ノ上ニ作リタル正三角形ノ比ヲ求ム
- (五) 相交ル二ツノ直線ニ垂線ナル直線ハ其平面ニ垂線ナリ

明治三十八年度後期

- (1) ニツノ直線ハOB,ODハ二ツノ直線ACト同一ノ點Oニ於テ出會ヒ其反對ノ側ニ在リテ角AOBハ角CODニ等シ然ルトキハBODハ二直線ナリ
- (2) 菱形ノ對角線上ノ任意ノ點ヨリ各邊ニ垂線ヲ引クトキハ此四ツノ垂線ノ

足ハ對角線ノ交點ヲ中心トスル一ツノ圓ノ周ノ上ニ在リ

- (3) 弧APB上ノ任意ノ點PトAトヲ結ビ付ケ之ヲPノ方ヘAPニ等シキダケ延長シ其端ヲQトスルハQノ軌跡如何
- (4) 一ツノ角ガ相等シキニツノ三角形ガ相等シケレバ各ノ形ニ於テ其角ヲ夾ム一ツノ邊ノ比ハ他ノ邊ノ反比ニ等シ
- (5) 一ツノ平面ニ垂直ナル直線ハ之ニ平行ナル總ツノ平面ニ垂直ナリ

明治三十八年度後期

- (1) 與ヘラレタル一ツノ點ヲ與ヘラレタル直線上ノ各點ニ結ビ付クル直線ノ中點ノ軌跡ハ與ヘラレタル直線ニ平行ナル直線ナリ
- (2) ニツノ圓ガPニ於テ圓切シ大圓ノ弦ABハCニ於テ小圓ニ切ス然ルトキPCハ角APBヲ二等分ス
- (3) 三角形ノ邊ノ上ニ在ル與ヘラレタル點ヲ過リ直線ヲ引キ其三角形ヲ二等分スルコト

- (4) 正六邊形ノ邊ヲ何方へ延長シ其交點ヲ結ビ付ケテラノ正六邊形ヲ得此ニ
ツノ六邊形ノ比ハ 1:3 ナリ
- (5) 三ツノ平面ハ一線ニ一ツノ點ニ於テ交ル特別ナル場合ハ如何
明治四十年度
- (三) 三角形 ABC ノ内 B ノ二等分線ト外角 C ノ二等分線トノ交點 O ヲ A ニ聯ヌ
ル直線カ邊 BC ニ平行スルトキ他ノ二邊 AB AC ハ相等シキコトヲ證明セヨ
- (二) 同一ノ點ニ於テ内分或ハ外分セラ、ノ所ノ圓ノ弦ノ分ノ包ム矩形ハ總テ相
等シキコトヲ證明セヨ
- (三) 與ヘラレタル三角形ニ内接スル正方形ヲ作レ
- (四) 相似三角形ノ面積ノ比ハ其對應邊ノ二乗比ニ等シキコトヲ證明セヨ
- (五) 相交ル二直線ノ各ニ垂線ナル直線ハ其二直線ノ定ムル平面ニ垂直ナルコト
ヲ證明セヨ

明治四十一年度

- (1) 次ノ語ヲ定義セヨ
對偶定理. 平行直線. 圓. 「コーシユ」多角形.
- (2) 次ノ定理ノ逆ヲ述ベ且ツ夫ヲ證明セヨ.
三角形ノ外接圓ノ周上ノ任意ノ點ヨリ三ツノ邊或ハ其延長へ引ケン垂線
ノ足ハ一直線上ニアラ.
- (3) ニツノ與ヘラレタル點ヲ過リ與ヘラタル圓ニ切スル圓ヲ畫ケ.
- (4) 球ノ表面積ハ $4\pi R^2$ ナルコトヲ證セ.

物 理 學

明治三十八年度前期

- (一) 重サニヨリテ生スル壓力ハ其液ノ深サニ比例スル事ヲ詳シク圖解スヘシ
- (二) 排氣機ノ略圖ヲ記シ且其活栓ヲ筒底ニ達セシメズシテ筒底ヨリ其長サノ三
分一ノ部迄達セシメテ上下スレハ鐘内ノ空氣ハ初メノ三分一以下ノ密度ト
ナルコトナシ其理ヲ説明スヘシ

- (三) 普通ニ買ヒ集メ得ル材料ヲ以テ簡易ナル電池ヲ造ル方法ヲ記セヨ
- (四) 電磁石トハ如何ナルモノカ其應用ヨリ成レル器械ヲモ舉ケヨ
- (五) 坂ヲ上ルトキ其最高点ヘ真直ニ進ムヨリハ高キ左右ヘ曲ケ所謂七曲トニ上ルトキ大ニ容易ナルハ何故カ

明治三十八年度後期

- (一) ウキムシヤーストノ起電機ノ發電スル理ヲ説明スヘシ
- (二) 望遠鏡ノ理ヲ圖解スベシ
- (三) 音ハ如何ニシテ吾人ノ耳ニ達スルカ之ヲ詳カニ説明セヨ
- (四) 高サ六寸基底八寸ナル摩擦ナキ斜面上ニ三十貫ノ物体ヲ支持スルニ要スル斜面ニ平行ナル力ノ大サヲ問フ

明治三十九年度

- 一、融解熱氣化熱トハ何カ若シ水ノ上ノ兩熱量カ現在ヨリ小トナレバ如何ナル影響ヲ自然界ニ及ボスカ

- 二、太陽ノ光ニヨリテ生ズルスペクトルニ由リ太陽ヲ圍繞スル瓦斯中ニ存在スル元素ヲ知り得ト云フ其理如何
- 三、教室ニテ使用スルニ適シタル電池二種ヲ舉ゲ其構造、特長、及ビ保存法ニ就テ知レル所ヲ記セ
- 四、無線電信ニ就テ略述ス可シ

明治四十年度

- 一、顯微鏡ノ理ヲ圖解スヘシ
- 二、露ハ如何ナル夜ニ多ク生ズルカ且其理由ヲ述ベヨ
- 三、電氣燈ノ構造及ビ作用ヲ述ベヨ
- 四、挺子ニ就テ詳述スベシ

明治四十一年度

- 一、器具類ヲシテ容易ニ轉倒セシメサラシメン爲メニ重キ大ナル底面ヲ有セル臺ヲ附スルハ何故カ之ヲ力學上ヨリ證明スヘシ

- 二、物體ノ色及ヒ光澤ハ何ニヨリテ起ルカ之ヲ詳解スベシ
- 三、弦ノ振動ノ定律ヲ説明スベシ
- 四、二種ノ電燈ヲ舉ゲ其構造、作用、特長ヲ比較スベシ

學化

明治三十八年度前期

- 一、酸素ノ製法及ヒ性質ヲ示ス實驗法ヲ詳シク述ベヨ
- 二、石油ノ天産ノ有様、精製法、其成分ヲ記セヨ
- 三、アルカリ金屬トハ如何其元素ヲ舉ゲ其重ナル化合物ヲ記セヨ
- 四、植物體中ニアル酸味ノ成分及ヒ其所在ヲ述ベヨ
- 五、蛋白質ノ種類ヲ舉ゲ其天産ノ模様ヲ記セヨ

明治三十八年度後期

- 一、分子量、原子量トハ如何
- 二、水素ノ製法及ヒ性質ノ實驗法ニ就テ詳述スベシ

- 三、防腐、消毒トハ如何及ビ之ニ要スル藥品ニ就テ知レル所ヲ記セ
- 四、重ナル合金ノ成分及ヒ成分ノ割合ヲ記セ
- 五、キニン。アレピン油。タンニン。エーテル。パルミチン酸。グリセリン。蟻酸。

右ノ諸物質ニ就テ略述スヘシ

明治三十九年度

- 一、鹽化水素瓦斯ノ製法性質用途ヲ述ベヨ
- 二、鐵ノ天産ノ模様及冶金法ヲ記シ且ツ三種ノ鐵ノ成分性質用途ヲ比較セヨ
- 三、硫酸ノ製法及ヒ性質ヲ述ベヨ
- 四、中和ノ現象ヲ電離說ニヨリテ説明スベシ
- 五、アルカロイドノ重ナルモノニ就テ略述スベシ

明治四十年度

- 一、水ノ成分ニ就テ詳述スベシ

- 二、硫酸ノ製法及ビ性質ヲ記セヨ
- 三、石炭タールヨリ得ル重ナル物質ヲ舉ゲ且其用途ヲモ記セヨ
- 四、炭水化物ヲ列舉スベシ

明治四十一年度

- 一、標準溫度、標準壓力ニ於テ一千リットルノ水素ヲ得ントス之ニ要スル藥品及ヒ其分量如何
- 二、左記ノ場合ニ於ケル反應ノ方程式ヲ示スヘシ
 - (1) 大理石ニ稀鹽酸ヲ注グ
 - (2) 硫化鐵ニ稀硫酸ヲ注グ
 - (3) 酒類ノ酸敗スル時
- 三、溶液ノ結氷點及沸騰點ニ就テ述ベヨ
- 四、石鹼及ビ綿火藥ノ製法ヲ略述スベシ

博物 (動物)

明治三十八年度前期

- 一、動物につき世代交替を説明せよ
- 二、海綿動物につき説明せよ
- 三、寄生生活は退化を來す傾向あり例を擧げて説明せよ
- 四、蚯蚓の作用を問ふ

明治三十八年度後期

- 一、動物の呼吸法の種類を問ふ
- 二、棘皮動物の体の構造を記せ
- 三、双殻類の貝の開閉につき説明せよ
- 四、例を擧げて半翅類の特徴を記せ

明治三十九年度

- 一、浮塵子(ウンカ)の動物分類上の位置及び性質を問ふ
- 二、鳥の空中を飛ぶ時に肺を軽くする方法を問ふ
- 三、人為淘汰、自然淘汰、生存競争につき説明せよ

四、自然界の平均とは如何なることか

明治四十年度

- 一、例を挙げて哺乳動物の特徴を記せ
- 二、動物を外形により二つに分つといふ例を挙げて説明せよ
- 三、双殻類の貝殻を畫して各部に名稱を附せ
- 四、例を挙げて寄生、寄生動物、宿主の差別を問ふ

明治四十一年度

- 一、發生中變態する動物三種を選び各變態の順序を略記せよ
- 二、東半球の猿と西半球の猿との相違を記せ
- 三、膜翅類の特徴及び其著しき一例を選び生活の状態を記せ
- 四、一例を挙げて高等の甲殻類の共通の點を列舉せよ

博物 (植物)

明治十八年度前期

- 一、向日性、背地性は植物生育上如何なる利益あるか
- 二、禾本科植物の特徴を問ふ
- 三、同化作用に日光の必要なる所以を證明する方法を問ふ
- 四、蕨植物とは何か例を挙げて説明せよ

明治三十八年度後期

- 一、氣温と發散作用との關係を問ふ
- 二、双子葉植物の莖の構造を記し其各部の人生に對する効用を記せ
- 三、葉綠素有せざる植物は皆寄生なりと其理由如何
- 四、梅、柿、及び蜜柑の果實の斷面圖を畫し其異なる點を記せ

明治三十九年度

- 一、例を挙げて薔薇科植物の特徴を記せ
- 二、雄蕊は花粉を受けざれば果實とならぬ其證明法を問ふ
- 三、葉に積日性なくば如何なる結果を來すか

四、種子の構造を問ふ

明治四十年度

- 一、雙子葉植物の莖の横断面を書き吾人の使用する纖維は何れの部分より得るかを示せ
- 二、果樹及び園藝植物を改良繁殖する方法を問ふ
- 三、ジャガイモにて澱粉を示すに如何にするか及び其澱粉の形状を問ふ
- 四、冬芽と夏芽との差別を問ふ

明治四十一年度

一、高山の御花島の出来る理由を問ふ

二、梅の花の構造を問ふ

三、葉の模細工状排列となす理由を述べ其著しさもの三種を擧げよ

四、有毒植物と他の植物との識別法を問ふ

博物 (礦物、生理) 明治三十八年度前期

一、拮抗筋につき例を擧げて説明せよ

二、關節に於ける摩擦を防ぐ装置を問ふ

三、炭素は如何なる状態にて地球上に存在するか

四、鐵は如何なる状態にて地球上に存在するか

明治三十八年度後期

一、靱帯の所在及び其効用を問ふ

二、脈、搏の起る所以を記せ

三、香川縣産岩石につき知れる所を記せ

四、カルシウムは如何なる情態に存在するか

明治三十九年度

一、火成岩と水成岩との區別を問ふ

- 二、長石につき知れる所を記せ
- 三、呼吸の運動につき説明せよ
- 四、排泄器の作用を記せ

明治四十年度

- 一、神経系を表に作り各其作用を略述せよ
- 二、眼の調節使用を問ふ
- 三、粘土の成因性質及び其効用を問ふ
- 四、劈開とは何か

明治四十一年度

- 一、淋巴とは何か及び其作用を問ふ
- 二、喉頭の構造及び發聲の理由を記せ
- 三、砂鐵の化學成分及び其産状を問ふ
- 四、各一例を擧げて火成岩水成岩變成岩の現出の状態を記せ

地理

明治三十八年度前期

- 一、揚子江岸の開港場名及び日本人の營める航海業につきて記せ
- 二、南あめりか洲の氣候と産物とにつきて記せ
- 三、世界地理の上より見たる日本の産物三個をあげ其産地販路及び景況につきて述へよ
- 四、火山噴出の原因を記せ
- 五、大湊、檣船、マルシャル諸島、ナポリ、アンヘルスの位置及び著しきことどもを記せ

明治三十八年度後期

- 一、九州島の畧圖を書き石炭産地及び積出港を記入し其販路、景況につきて記せ
- 二、獨逸國の地勢と生業産物につきて記せ

- 三、清韓地方に於て本邦人の營める鐵道航路につきて記せ
- 四、イヌバニア語の行はるゝ地方をあげ其管轄國名及び政體につきて記せ
- 五、日蝕を説明せよ

明治三十九年度

- 一、島嶼の成因を説明し其種類と實例をあげよ
- 二、本邦と國交を結べる諸國中、アメリカ大陸にあるものを列舉し其政體と言語及び首府の名とを記せ
- 三、韓國の略圖を畫さ之に主要なる山脈河流及都港、行政區劃線、京釜鐵道線路を記入すべし
- 四、左記の名稱につき地理學上の説明を求む
ツーロン、パタビア、シンブロン隧道、江寧府、鹿籠、珈琲、ブレーメン
遼萬窟、コルサコフ、生絲、

明治四十年度

- 一、潮汐干満の理を説明せよ
- 二、韓國の略圖を畫さ左事項を記入せよ
い、各道の區劃及び名稱
ろ、鐵道線路
は、統監府、理事廳の所在地
- 三、獨逸國の地勢、産業を説明し著名なる港名を示せ
- 四、我邦に於ける左の産物の産地、仕向地、積出港を問ふ
生絲、樟腦、綿絲、漆器、羽二重、
- 五、左問ニツキテ知レルコトトモヲ記セ
アルジエリア、カリアオ、ニューファウンドランド島、枝光

明治四十一年度

- 一、左記産物の世界に於ける主産地を示せ
生糸、珈琲、銅、樟腦、茶

- 二、南樺太の地勢、生業につきて記せ
- 三、朝なご、夕なごにつきて説明せよ
- 四、獨逸國の政治、産業につきて記せ
- 五、左の各問につきて知れることを記せ
 プラゴベシヲエンスク、リマ、アルジェリア、松花江、シートル

歴史

明治三十八年度前期

- 一、徳川氏の朝廷に對して施したる處置につきて述べよ
- 二、神聖同盟につきて述べよ
- 三、元ノ太宗の事業につきて記せ
- 四、ゼスイット派、御朱印船、族制政治、太秦國につきて記せ

明治三十八年度後期

- 一、クライブ、班超の略傳を記せ

- 二、戰國時代(永祿天正年間)群雄割據の有様を示せ
- 三、北アメリカ合衆國南北戦争を記せ
- 四、第十八世紀に於けるヨーロッパの風潮につきて記せ
- 五、三國通覽、側用人、莊園、伴造の説明をなせ

明治三十九年度

- 一、普佛戦争につきて記せ
- 二、左記の名稱につきて知るところを記せ
 汴京、臨潢、鄭和、洪秀全、
- 三、ポエニ戰役を記せ
- 四、庄屋、名主、同朋、束帯、記録所を説明せよ

明治四十年度

- 一、西曆一八一五年のウィーン列國會議の顛末を述べよ
- 二、我邦に於ける安政年間の外交始末を記せ

- 三、ボエニ戦役後のローマ國內の情態を記せ
- 四、支那、戰國時代合従連衡を説明せよ
- 五、左問を説明せよ

洪秀全、洛陽、陷繪、雜訴決斷所

明治四十一年度

一、公事方定書、武家諸法度は何時頃に作られ如何なることを記せるものなるか

二、吳三桂、班超は何朝の人にして如何なる事となし、か

三、歐洲中古時代に於けるノルマン人の活動のつきて記せ

四、モンロー主義とは何ぞ

簿記

明治三十八年度前期

一、單式と複式との區別を詳細に述べよ

二、複送品及委託品とは如何且其取扱法を述べよ

三、次の取引に付き損益表を作れ

十日 資本主森島修太郎より元入金五千圓を受取る

五日 森下岩楠より現金にて玄米三百石を二石拾貳圓替にて買入る

十日 日原昌造に現金にて玄米二百石を一石拾參圓拾錢替にて賣渡し直に

十代金を甲銀行へ當座預となす

二十日 美澤進より玄米四百石を一石拾貳圓貳拾錢替にて買入れ内貳千圓

を現金にて支拂ひ殘金を同人宛手形を渡す(一ヶ月限支拂)

廿五日 濱田弘に現金にて玄米四百石を一石拾貳圓七拾五錢替にて賣渡す

三十日 本月分營業諸雜費五拾參圓を支拂ふ

明治三十八年度後期

一、單記元帳と複記元帳との異同如何

二、手形及小切手とは如何

三、次ノ取引ヲ仕譯セヨ

- 十一日 伊賀屋一郎ヨリノ借金ヲ同人宛本日付十日限仕拂本店仕出ノ手形ヲ以テ拂渡ス
- 十三日 伊勢屋二郎ヨリ大麥五拾石八圓替ニテ買入レ代金トシテ同人宛本日付三ヶ月限仕拂本店仕出ノ手形ヲ以テ拂渡ス
- 十六日 志摩屋三郎ニ大麥三十石八圓六拾錢替ニテ賣渡シ代金トシテ本日付十日限仕拂本店宛同人仕出ノ手形ヲ受取ル
- 十七日 尾張屋四郎ニ掛ニテ大麥二十石八圓五拾錢替ニテ賣渡ス
- 廿一日 伊勢屋一郎宛ノ手形仕拂期日ニ付代金拂渡ス
- 廿六日 志摩屋三郎仕出ノ手形仕拂期日ニ付代金受取ル
- 廿八日 尾張屋四郎ヨリ掛代金高受取ル

明治三十九年度

二、利子ノ割引、控歩トハ如何

二、次ノ取引ニツキ遺産負債表及損益表ヲ作レ

- 一日 資本主甲ヨリ現金ニテ元入金壹萬圓受取ル
- 四日 乙ヨリ現金ニテ大麥四百石買入ル九圓替
- 七日 丙へ現金ニテ大麥百石賣渡ス拾圓替
- 十日 丁へ現金ニテ大麥三百石賣渡ス九圓五拾錢替
- 十三日 戊ヨリ現金大麥五百石買入ル九圓拾錢替
- 十六日 己へ現金ニテ大麥二百五十石賣渡ス九圓七拾錢替
- 十九日 庚へ現金ニテ大麥二百五十石賣渡ス九圓九拾錢替
- 廿二日 辛ヨリ現金ニテ大麥二百石買入ル九圓七拾錢替
- 廿五日 壬へ掛ニテ大麥百石賣渡ス拾圓替
- 廿八日 癸へ大麥百石拾圓拾錢替ニテ賣渡シ代金トシテ同人振出シ乙宛勿月廿五日支拂ノ約束手形ヲ受取ル
- 三十日 諸雜費百五拾六圓九拾錢支拂フ

明治四十年度

- 一、商業上普通ニ用ヒラル、勘定科目ヲ舉ゲテ之ヲ説明セヨ
- 二、帳簿ノ組織ヲ説クベシ
- 三、左記ノ取引ヲ仕譯帳ニ記入セヨ
 - 二月一日 資本主高松市郎ヨリ左ノ通り元入ス
 - 一、現金貳千五百圓也
 - 二、軍事公債証書參拾枚此額面百圓ニ付時價百圓ニテ此金參千圓也
 - 三、百十四銀行當座預金現在高四十五百圓也
 - 同月二日 丸龜城吉ヨリ左ノ通り買入ル
 - 一、營業用諸什器壹貳此代金貳百圓也
 - 二、倉庫現在商品
 - 四、上玄米貳百石此代金壹百拾六圓五拾錢替ニテ金參千參百圓也
 - 一、口中玄米百五拾石此代金壹百拾六圓替ニテ金貳千四百圓也
 - 二、六右貳口合計金五千九百圓也ノ内金參千圓ハ第參拾號百十四銀行小切手
 - ニテ金千七百圓也ハ現金ニテ金千貳百圓也ハ第壹號本日附同人宛當店

振出拾日限リ約束手形ニテ支拂フ

明治四十一年度

- 一、元帳普通結算ノ手續ヲ順序ヨク列記セヨ
- 二、左ノ各勘定科目ニ就キ其貸方又ハ借方ノ殘高ヲ説明セヨ
 - 1、支拂手形勘定
 - 2、損益勘定
 - 3、不動産勘定
- 三、左ノ各取引ヲ仕譯セヨ
 - 1、丸龜商店振出約束手形滿期日ニ付現金參百圓及ヒ香川銀行小切手貳百圓ニテ支拂ヲ受ク
 - 2、玄米百石ヲ大阪川口商店へ積送ル爲メ汽船愛媛丸ニ積込ミ船荷證券ヲ受取ル此諸入費貳拾圓現金ニテ支拂フ

牀 操 科

明治三十八年度前期

普通

- 一、美容術 五節十二第十九節第廿二節
- 二、徒手体操 第一部
- 三、懸鈴体操 第二部
- 四、球竿体操 第一部
- 五、棍棒体操 第一演習 (以上實地)
- 一、体操教授ハ如何ナル運動順序ニ依ルヲ適當トスルカ
- 二、夏期ニ於ケル体操教授ハ冬期ニ比シテ如何ナル注意ヲ要スルカ (以上答)

兵式

- 一、徒手体操第三四教ノ各運動
- 二、部隊教練但シ分隊及小隊教練(徒手) (以上實地)
- 一、徒手体操ノ目的ヲ記セ
- 二、突撃ヲ行フベキ時機及ビ其ノ有効ナル所以ヲ記セ (筆答)

明治三十八年度後期

普通

- 一、美容術 五、八、十二、十四、二十一ノ各節ノ運動
- 二、徒手体操 第一部及二部ノ運動
- 三、懸鈴体操 第一部及二部ノ運動
- 四、球竿体操 第一部ノ運動
- 五、棍棒体操 第一演習 (以上實地)
- 一、体操科ノ教材ハ生理上如何ナル順序ニ依ルヲ適當トスルカ例ヲ舉ゲテ之ヲ説明セ
- 二、体操科ノ目的ヲ問フ (以上筆答)

兵式

- 一、徒手体操二、各個教練 三、小隊教練 (以上實地)
- 一、銃劍ノ名稱ヲ記セ
- 二、緊急合營トハ如何ナルモノカ
- 三、徒手体操ノ目的ヲ記セ (以上筆答)

明治三十九年度

普通

體操科

六八

普通

兵式

- 一、美容術 五、八、十五、二十ノ各節
 - 二、徒手體操 第一部全体ノ運動
 - 三、陸鈴體操 第一部全体ノ運動
 - 四、球竿體操 第一部全体ノ運動
 - 五、棍棒體操 第一演習 (以上實地)
 - 六、體操教授ニ於ケル必要ナル注意ヲ問フ
 - 七、遊戲ノ教育的價值ヲ述ベヨ (以上筆答)
 - 八、徒手體操 一、徒手各個教練 二、徒手部隊教練 (實地)
 - 九、號令ノ要領ヲ述ベヨ
 - 十、左ノ兵用語ヲ解釋セヨ
 - 十一、體操科ノ散兵線、步哨線、火線、照準線
 - 十二、兵式徒手體操ノ目的ヲ述ベヨ (筆答)
- 明治四十年度

普通

兵式

普通

體操科

六九

- 一、徒手各個運動
 - 二、球竿體操第一ノ内平均運動ヨリ肩背ノ運動マデ
 - 三、棍棒體操第一演習二節マデ (實地)
 - 四、小學校ニ舞踏的遊技ヲ課スル目的及實施上ノ注意ヲ問フ
 - 五、左ノ教材ニ就テ教授上ノ注意如何
 - (一) 臂ノ側舉轉回 (肩背ノ運動)
 - (二) 臂前上舉 (同上) (筆答)
 - (三) 徒手體操 (二) 徒手各個教練 (三) 徒手密集教練 (實地)
 - 六、衛生體操ト規律體操トノ別アラハ例ヲ舉ゲテ述ベヨ
 - 七、步兵聯隊ノ組織ニツキ知レントコロヲ述ベヨ (筆答)
- 明治四十一年度
- 一、徒手各個演習 二、陸鈴體操第二演習
 - 三、球竿體操第一演習 四、棍棒體操第一演習 (實地)

兵式

- 一、各個教練ト連續演習トノ得失ヲ舉ゲ其調和ノ方法ヲ述ベヨ
- 二、教授ノ基本的形式中上肢ノ運動ノ目的及ビ効力ヲ問フ
- 三、尋常科第三學年ニ教授スベキ徒手各個演習ノ教程ヲ編制セヨ (筆答)
- 一、不動ノ姿勢ニ就キ注意スベキ要點
- 二、押伍ノ位置及任務 (筆答)

圖畫

明治三十八年度前期

自在書

用器書

- 一、草花 臨書 但シ濃淡ヲ附スベシ
- 二、菱形ニ内接スル正方形ヲ畫ケ
- 三、正三角柱ノ軸ガ兩畫面ニ各五十度ノ角度ヲ有スル場合ノ投影ヲ求ム
- 四、直曲線各四個ヲ用ヒテ紋形ヲ工夫セヨ

明治三十八年度後期

自在書

- 一、洋燈ノ圖ヲ畫ケ 意匠隨意

用器書

- 二、一邊ヲ知リテ任意ニ正多角形ヲ畫ク法 但九角形ヲ畫ケ
- 三、長徑及ビ短徑ヲ知リテ卵形ヲ畫ケ
- 四、軸ニ平行セル一平面ヲ以テ圓錐ヲ切斷セルトキノ斷面ノ實形及ビ開展圖ヲ求ム

明治三十九年度

自在書

- 一、草花 臨書

用器書

- 二、圓中ニ不正ナル所アラバ正セ
- 三、定角ノ二邊ニ觸レ及ビ相觸ル、數個ノ圓ヲ畫クコト
- 四、一邊ノ長サ一寸七分ノ正四面體ノ投影圖ヲ畫ケ
- 五、圓板ガ複角度ニ於ケル場合ノ投影ヲ求ム

明治四十年度

自在書

- 一、烟草盆ヲ寫生セヨ
- 二、高等科三四年生ニ課スベキ模様二三ヲ工夫セヨ

用器書

- 一、雙曲線ヲ書クコト
- 二、定長方形ト等積ノ正方形ヲ書クコト
- 三、正五角柱體ヲ斜斷シタルトキノ斷面ノ實形ニ三ヲ書ケ
- 四、正方臺ガ複角度ニ於ケル場合ノ投象ヲ書ケ

明治四十一年度

自在書

- 一、器具ノ寫生
- 二、梅花五ツ松葉七ツヲ以テ短邊四寸長邊六寸ノ長方形内ニ模様書ヲ考案セ
- 三、圓錐ガ複角度ニ於ケル場合ノ投象ヲ書ケ
- 四、圓ニ内接シ且ツ互ニ相觸ル、三個ノ等圓ヲ書ケ

用器書

尋常小學本科正教員

修身

明治三十八年度前期

- 一、教育勅語中社會道德ニ關スル部分ヲ摘記シ解釋スベシ
- 二、人ヲ殺スコトハアラユル場合ニ惡ナリヤ
- 三、受験者諸君ガ修身科ヲ研究シタル方法及其讀ミタル書籍ノ名ヲ舉ゲヨ

明治三十八年度後期

- 一、勇氣トハ何カ
 - 二、品性ハ如何ニシテ修養スベキカ
 - 三、博愛ト戰爭トハ全ク併立セザルモノナルカ
- 明治三十九年度
- 一、武勇ト禮節トノ關係
 - 二、小學校ニ於テ修身科ガ重要ナルニ比シ其教授時數ノ少キハ如何

三、慎獨トハ何ゾ

明治四十年度

一、眞實トハ何ゾ

二、人ノ氣品ト嗜好トノ關係

三、「天ハ自カラ助グルモノヲ助ク」ノ意義

四、師道ニツキテ感ズルトコロヲ記セヨ

明治四十一年度

一、「善ニハ善ノ報アル故善行ヲ勵ムベシ」ト教フルコトノ可否如何ヲ論ゼヨ

二、禮儀ノ外形ト内容トノ關係ヲ説ケ

三、剛復ト剛毅トノ差異

四、「大行は細道を顧みず」ノ語ヲ批評セヨ

教育(原理)

明治三十
八年度前

(一)教室内ヲ裝飾スベシト云フコトノ理由ヲ述ベヨ

(二)兒童ヲシテ勤勞ヲ重ンゼシムル習慣ヲ養成スルニツキテ學校ニテハ如何ナル
コトヲナサシムルヲ適當ト認ムルカ

(三)スバルタ教育主義ヲ述ベテ各自ノ所感ヲ記セ

一、心身ノ相關ニツキテ説明シ教育上ノ注意ヲ述ベシ

二、社會ノ教育上ニ及ボス影響ヲ述ベヨ

三、兒童ヲ罰スルニ全級生ノ前ニ於テスルト内密ニスルト何レガ効果多シト

考フルカ若シ一ニ偏スルコト能ハズトセバ其場合ヲアゲテ論ズベシ

一、教室ニ於テ兒童ノ注意ヲ保持センニハ如何ナル點ニ注意スベキカ

二、感情ガ智ノ作用ニ及ボス影響ヲ述ベヨ

三、左ノ各項ニツキテ説明セヨ

(イ)觀念 (ロ)概念 (ハ)理性的意志

(一)運動ノ精神作用ニ及ボス影響ヲ述ベヨ

明治四十
年度

全年度後

明治卅九
年度

明治四十一年度

- (一) 手近キ例ヲアゲテ欽仰ノ情ヲ説クベシ
- (二) 禮儀作法ノ訓練上ニ於ケル効果ヲ述ベヨ
- (三) 觀念聯合ノ法則ヲ説明セヨ
- (四) 家庭教育ニツキテ衛生上注意スベキコトヲ述ベヨ
- (五) 作業ノ教育的價值及其種類ヲ述ベヨ

教育 (教授法管理法)

明治三十八年前期

全年度後期

- 一、問答教授ヲスルニツキテ注意スベキ要件ヲ記セ
- 二、算術教授ニ於ケル直觀主義、多方的取扱、數へ主義ト云フコトヲ説明スベシ
- 三、小學校ノ本旨及種類ヲ説明スベシ
- 四、話シ方ト綴リ方トノ關係ヲ説明セヨ
- 五、手工科ノ教育的價值ヲ述ベヨ

明治卅九年度

明治四十一年度

明治四十一年度

- 一、教室内ニ於ケル兒童ノ姿勢ニツキテ述ベヨ
- 二、兒童ノ出席ヲ停止スルハ如何ナル場合ニ於テナシ得ルカ
- 三、修身科教授ノ要旨ヲ詳解セヨ
- 四、小學校ニ於ケル文法教授ノ方法
- 五、男女混同教育ノ利害ヲ述ベテ現行法ノ規定ヲ記セ
- 六、修身科教授ニ於テ訓辭ヲ先導シテ例話ヲ後ニスル(演繹法)ハ如何ナル場合カ
- 七、手工科ノ目的及其價值
- 八、教授細目編製上ノ注意
- 九、成績考査ノ目的及方法
- 一〇、地理科ノ基本教授ノ方法ヲ説明セヨ
- 一一、學校ト家庭トノ連絡ヲ親密ニスル方法ヲ述ベヨ
- 一二、同一學級ニ特別ナル優等兒ト甚シキ劣等兒トアルトキハ其教育法ヲ如何

ニ差別スベキカ

國 語 (讀解)

明治三十
八年度前

一、森戸川を渡りて右に折れ亂松の間を蛇行すればやがて森戸神社に御座候
 ふ松林帯の如く海上に連なり林つきて巖盤ゆるるところ祠堂あり幾多の巍巖
 を隔て、名島と相對し候ふ先づこのもよりの絶景の一に候ふ東鑑を按ずる
 にも元暦元年五月十九日武衛御濱に逍遙し由比浦より船に乗り給ひ杜戸松
 樹の下に於て有、小笠懸、是土風也と見え候ふかれを想ひ之を憶うていと
 昔の人の忍ばれ申し候今人不見古時月今月却經照古人、古人のなつかしき
 につけてもまた行末いかなる人をば照すらむなご思ひつゝ歩行政すほごに
 いつしが突渡崎にさしかり候 (全文解釋)

三、將軍宣下 先取權 指南 感慨淋漓 柄鑿相容れず
 (旁訓及びその意義)

全年度後

一、白河鳥羽兩院の御ふるまひ崇徳院の御あやまち義朝父子の悲劇平家盛衰
 の大叙事詩右大將がトラチコメデ、鎌倉三代間の因果應報ひいては承久の
 大亂まで真にこれ造化自然の大悲劇詩もし紙背に徹るといふ史眼ありて應
 報の隱微を讀むことを得ば何物か造化の大家たるを否み得べき因縁果報
 の運脈彰乎として掌紋を指すが如くこれを譯む遊をしておぼえずも怖れ戰
 かしめやがて肅然として襟を正さしむかの足利史をもて最暗黒なる國史の
 部分なりと思へるものはひとり勤王の觀察點より帝國史を讀める批判家な
 らむのみ

小楠公

本居豊穎詠

北風つよくふさわれてますます寒さよし野山のこる一木も今はとて散りし
 かあはれ若櫻

與謝村蕪村作

血とよむ鼠の香の夜寒かな

以上第一問第二問孰レモ解釋セヨ

三、左ノ各語ニ振假名ヲ施シ意義ヲ説明スベシ

准后、版籍、制海權、登仙、干支、美術、精査檢覈、蓬生の露、勅撰の書

卅九年度

一、知己に至りては然らず天下千百の朋友を得るはやすけれども一人の知己を得るは難し知己とは何ぞや我よりすれば彼より知らるゝなり彼よりすれば我を知るなり「君ならで誰にか見せむ梅の花色をも香をも知る人ぞ知る」これ實に知己に對する情なり知己實に難し故に一の知己を得れば殆ど一の生命を得たるよりも嬉しく一の知己を失へば一の生命を失ひたるよりも悲し鍾子期死して伯牙絃を折り荆軻死して商漸離また筑を撃たずその心まことにあはれむべきものあり

二、行きくれて木の下かげを宿とせば

花やこよひのあるじならまし

(平忠度)

よき人によどす小家や朧月

(谷口蕪村)

以上三問ハ詳解スベシ

三、風潮傾向、向上的精神、納鑿相容れず、朝野蔽寒、藝術

右ハ振假字ヲ施シ並ニ其意義ヲ説クベシ

四十年度

一、われはこの繪を見るが如き清穩の風景にあひてかの途上險しき巖と峻しき流とのために幾度か魂飛ひ肉消えて理むる方なくかさ亂されし胸の内は

驚然として頓に和ぎ恍然として總て忘れたり

まことによくこそわれは來つれ何ぞ來ることの甚だ遅かりし山の麗しといふも壤の堆さもののみ川の暢けしといふも水の逝くに過ぎざるを牢として

抜くべからざるわが半生の痼疾はいかで壤と水との醫すべきものならんや

と齒牙にもかけず悔りたりしあのれこそ先づ悔らるべき愁のものなれや

二、花 源 頼政

み山木のその梢とも見えざりしさくらは花にあらはれにけり

羊煮て軍を稿ふ霜夜かな

以上二問ハ詳解スベシ

三、左ノ各語ニヨミ假字ヲツケ且ツ其意義ヲ説クベシ

春興、慮外者、歴説、誣罔、淫祠、有明の月、青銅の藥研、執着、蓋世の偉才、登仙、

四十二年

一、左ノ文章ヲ解釋セヨ

元暦元年の頃かとよ重衡の中將の東夷のためにとらはれてこの宿につき給ひしに「東路の埴生の小屋のいぶせさにふるさといかにこひしかるらんと長者の娘がよみたりし其のいにしへの哀まで思ひ残さぬ涙なり旅館の燈かすかにして鶉鳴曉を催せば匹馬風に嘶きて天龍川をうち渡りさやの中山越えゆけば白雲道をうづめきてそことも知らぬ夕暮に家郷の天を望みても昔西行法師が命なりけりと詠じつゝ二たび越えし跡までもうらやましくぞ思はれける隙行く駒の足早み日既に亭午に上ればかれいひすゝむる程とて與

四十二年

を前庭にかき止むながえを敲きて警固の武士と近づけ宿の名をこひ給ふに菊川と申すなりと答へければ承久の合戦の時院宜かきたりし答によりて光親卿關東へ召し下されしがこの宿にて誅せられし時昔南陽縣菊水汲下流而延齡今東海道菊川宿西岸而終命とかきたりし遠き昔の筆の跡いまはわが身の上になりあはれやいとゞまさりけん一首の歌を詠じて宿の柱にぞかゝれける

古もかゝるためしをさく川の

あなじながれに身をやしづめむ

二、左ノ文章ニ漢字ヲ填充スベシ

わがふねのヌエズらんかをすぎしはひすでにさんりよーしゆーにちちてゆふづぎのかげはやしやじよーにほのみゆるころにまさふらひひ。つきはしろくいさはあかくちかきをかのみくろくをばだつなかをいつたいのどしんのらくだにまたがりてしよーよーするさまのさなるそのせさは

くこりよりのけいほどんどけいじよすべからず。しつにいらてしんにつけばはりまどまるくげつこりをやどしばしやたるそのかげちんといにちいらいしてしゆいやねむることあたはずさふらひき。

三、左ノ各語ニ假字ヲ附ケ且ツ其意義ヲ解説スベシ

漢洲、永遠、儒夫、素養、一斑、流浪、清淨無垢、尖塔堂閣、

四、本縣内ニ行ハル、方言ノ主ナルモノ拾個ヲ列舉スベシ

國語 (文法)

卅八年度
前期

一、左ノ文章ドモノ語ノ排置ヲ正シキ順序ニ改メヨ

甲、うべも昔の男は棹は穿つ波の上の月を船は襲ふ海の中の空をどはいひけむ

乙、見よ天下の青年は山の如く多しといへどもよく後世に名をのこすもの
幾人あるかと

二、左ノ助詞ドモニツキ各ソノ意義ヲ問フ

と、を、すら、だに、や、つゝ、まし、で、

三、假名、漢字、和字ニツキテ知ル所ヲ述ベヨ

一、國文法ヲ學ブ目的如何

二、左ノ二文ヲ解剖セヨ

(甲) 名高き旅順の砲臺も吾が軍に悉く占領せられたり

(乙) よく勉強するものに我はこの書を興へむ

三、左ノ文章ドモノ誤ヲ正シ合キテ其理由ヲ述ベヨ

(甲) 折角の御尋ねにて候へしをあやにく留守にいたし失禮仕り候今曉御出で下されべく候

(乙) 透逸の者へは褒美を興ふるべし競ふて投吟しよ投稿は端書を用ゆるも妨なし

一、左ノ語ドモニ就キテ約音延音略音通音ヲ説明セヨ

全後期

卅九年度

四十年度

- あまがさ(雨傘) 住まふ すじり(視) さしげ(捲) 申さく さみし(淋) やながは(柳河) 捨てたり かなやま(金山) 思はく もじ(文字) このは(木の葉) 爲べからず のきは(軒端) 答へけらく
- 二、左ノ二文章ニ就キ品詞ヲ分類シテ見ヨ
- イ、よろづの事頼むべからず愚なる人は深く物を頼む故に怨み怒る事あり
- ロ、連うてる池の汀に立ちて風に梳らるゝ新柳は櫻花の美なけれどもまた能く詩歌の好資料たるに餘あり
- 三、靜助詞だにさへすらのみばかりノ意義及ビ用法ヲ問フ
- 四、左ノ二文章ヲ各成分ニ解剖シ且ツ其ノ省略セラレタルモノハ之ヲ補ヒ顛倒セルモノハ其ノ正位ニ復シテ見ヨ
- イ、咖啡は我は少しも吞まざされ甚だ茶を好む
- ロ、古人も「志あらば事遂に成らむ」といへり
- 二、聲音ト文字トノ得失

四十一年度

- 二、下ニ掲ゲタル文語ノ文ヲ口語ニ口語ノ文ヲ文語ニ改メヨ更ニ本文ニ誤アラバ正セ
 - イ、彼れは日課を終らざる間は絶へて戸外に出づることなし
 - ロ、恩を報ゐると恨みを忘れるとはいづれも困難な事である
 - 三、左ノ律語文ヲ品詞ニ解剖セヨ
 - 一、朽なば朽ちね高嶺の巖ああ君が譽れは廣く世界に仰がれぬ高きくらべよ
 - 一、アルタイ山勇ましきかな心地よきかな
 - 四、靜助詞やかばなともなむノ用法ヲ問フ且ツ是等ノ助詞ドモガ誤ラレ易キ例ヲ擧ゲテ説明スベシ
 - 一、動助詞(助動詞)ず、なり、つ、き、めり、ノ意義活用法ヲ問フ
 - 二、靜助詞(てにをは)や、か、ノ用法ヲ問フ
 - 三、左ノ文ヲ語脈文脈ノ二方面ヨリ解剖セヨ
- 大日本は神國なり天祖始めて基を闢き日神長く統を傳へ給ふ我が國のみ此

の事あり異朝には其たぐひ無し此の故に神國といふなり

國語 (作文)

卅八年度
前度

一、卒業式ノ答 (高等小學卒業生に代りて) (普通文體)

二、韓國へ行く友にあくる文 (書簡文體)

右毛筆ニテ各題別紙ニ認ムベシ

全後期

一、第十一師團凱旋兵を歓迎す (普通文體)

二、運動會の狀況を友人に知らする文 (書簡文體)

卅九年度

一、小學校兒童に就いて (普通文體)

二、我が町村の狀況を問はれしに答ふる文 (書翰文體)

四十年

一、近頃の出来事を親友に報知する手簡

二、才徳に就いての説

四十一年

一、義務教育年限延長に關し所感を述べ (普通文)

二、友人に受験を勧むる文 (候文)

國語 (習字)

卅八年度
前期

臨事知閑貴澄心端道尊

右楷行各紙ニ書スベシ

全後期

孝以承親忠以奉上實國之積

右楷行各紙ニ書スベシ

卅九年度

清儉足以激濁貞正足以矯時

右楷行二體各紙ニ書スベシ

四十年

忍耐勇氣寛大親切慈愛正直

右楷行各紙ニ書スベシ

四十一年

義勇艦隊組織 (楷、行、草三體ニ分チ一紙三行ニ書スベシ)

區別のよくわからないものもある (一紙ニ書スベシ)

算術 (珠算)

前
期
卅八年度

一、次ノ金高ノ合計如何 (速算)
 八百九拾七圓六拾八錢七厘、百貳圓參拾九錢八厘、
 貳百拾七圓九拾八錢七厘、七百八拾壹圓九拾八錢八厘、
 貳百八拾八圓六拾四錢參厘、七百八拾七圓九拾九錢九厘、
 九百貳拾九圓貳拾九錢九厘。

二、次ノ段別ノ合計如何 (速算)

四町五反六畝廿四步、三町四反三畝十五步、
 一町九反九畝廿六步、五町七反九畝廿六步、
 四町二反九畝十七步、三町九反十八步、

(筆算)

3. 二位ノ數字ヲ數字ノ和ガ十一ニシテ本數ニ廿七ヲ加フレバ數字ガ入レ代ハ

ルトイフ此數幾何ナルカ

4. 次ノ分數ヲ簡單ニセヨ

$$4 + \frac{1}{2 - \frac{3}{4 - \frac{5}{6}}} = 10 \frac{5}{9}$$

$$2 + \frac{3}{4 - \frac{5}{6}}$$

5. 四十馬力ノ蒸氣機關ハ一分時ニ水五十三噸千二百八十封ヲ高サ十一呎ニ揚
 ザルカアリトイフ因テ問フ三十馬力ノ蒸氣機關ヲ以テ九十萬立方呎ノ水ヲ
 高サ五十呎ニ揚ゲンニハ幾何時間ヲ要スルカ 但一噸ハ二千二百四十封ニ
 シテ一封ハ十六「オンス」又水一立方呎ノ重サハ一千「オンス」ナリ
 6. 原價ニ三割六分ヲ加ヘテ定價トシ之ヲ一割六分割引シテ賣リタレドモ尙ホ
 七百四拾圓四拾八錢ノ利益アリトイフ原價如何

(珠算)

全後期

- 一、次ノ金高ノ合計如何 (速算)
 - 參百九拾七圓六拾八錢七厘、百貳圓參拾九錢八厘
 - 貳百拾七圓九拾八錢六厘、貳百八拾壹圓九拾八錢八厘
 - 貳百八拾八圓六拾四錢參厘、四百拾貳圓九拾八錢參厘
 - 貳百九拾八圓參拾壹錢五厘

二、次ノ段別合計如何

- 三町五反六畝廿四步、二町四反四畝十五步
- 三町九反九畝十三步、五町七反九畝廿六步
- 四町二反九畝十七步、三町九反廿五步

(算算)

$$3. \quad \frac{1\frac{2}{3} \times \frac{6\frac{3}{4} - 2\frac{7}{9}}{3\frac{1}{2} - 1\frac{1}{18}}}{2\frac{5}{6} - \frac{3}{5} \times \frac{1}{4\frac{4}{5}}} \text{ヲ最簡ニセヨ}$$

- 4. 甲五日ノ業ハ乙八日ノ業ニ等シ今甲百二十日間働キテ一畧ノ五分ノ二ヲ成セリ其殘業ヲ甲乙共力セバ同日ニシテ了ルベキカ
- 5. 甲乙丙三人商社ヲ結ビ丙專其事ニ任ゼシガ故ニ利益ノ拾分ノ一ヲ取リ其餘ヲ甲乙丙ニテ五、四、三ノ比ニ分ツベキ約ヲナセリ或年ニ於テ金四千五百六拾圓ノ利益アリ各所得如何
- 6. 甲ハ或人ノ周旋ニテ所有ノ土地ヲ乙ニ賣却セリ同周旋人ハ買主ヨリ携フタノ金高ノ百分ノ五ヲ貰ヒ受實際賣主ノ手ニ入リタル金貳千貳百參拾貳圓五拾錢ノ百分ノ四ヲ更ニ賣主ヨリ謝禮トシテ受取リタリトイフ周旋人ガ買主實主双方ヨリ貰ヒセシ金高ノ割合幾クニナルカ

(珠算)

- 一、次ノ金高ノ合計如何
 - 貳千八百九拾壹圓七拾六錢七厘、貳千八百八圓九拾八錢九厘、千九百八拾九圓九拾四錢八厘、參千九圓八拾九錢七厘、百七拾九圓參拾九錢九厘、參千

卅九年度

八百七拾九圓八拾九錢九厘、五千九百四拾圓八拾九錢九厘

二、次ノ反別合計如何

三町五反六畝廿四步、二町四反四畝十五步、

三町九反九畝十三步、五町七反九畝廿六步、

四町二反九畝十七步、六町八反九畝廿五步、

(筆算)

3. 我巡洋艦一隻ガ十五海里先ニ進ブル敵艦一隻ヲ追撃セントナルニ一時間ニ我巡洋艦ハ二十二哩三分ノ二走リ敵艦ハ十六哩四分ノ三走ルトイフ今我巡洋艦備付ノ巨砲ノ彈射力ニ海里六分ノ一ナルバ我艦長ガ敵艦ヲ砲撃スベキ號令ヲ下ダシ得ルハ幾時間ノ後ニアルカ
4. 一坪ノ砂利ヲ四人ノ人夫ニテ運ブニ四時十五分ヲ費スベシ然ルニ童子一人之ニ加ハル時ハ四時間ニ運ビ得ベシトイフ仍テ問フ童子一人ノ働ハ人夫一人ノ働ノ幾分ニ當ルカ

四十年度

5. 羅紗百六十碼ノ價美貨四拾磅ニシテ英貨一磅ハ我九圓八拾五錢六厘ナルトキハ羅紗一尺ハ我貨幣何程ノ割ニナルカ
 6. 成人三月五日ニ成物品ヲ買ヒ三十日ノ後ニ六拾圓ヲ拂ヒ四十二日ノ後ニ五拾圓ヲ拂ヒ六十日ノ後ニ七拾圓ヲ拂フコトヲ約セリ若シ之ヲ一時ニ拂ハントシハ何月何日ニ拂フベキカ (各問題トモ説明式運算答ヲ記セヨ)
- 一、次表ニヨリテ本邦ノ面積ヲ算出セヨ (速算)
- | | |
|-------|---------------|
| 本州 | 壹萬四千七百八拾七方里壹分 |
| 北海道本地 | 四千九百五拾參方里六分 |
| 九州 | 貳千六百八拾方里八分 |
| 臺灣 | 貳千貳百六拾方里四分 |
| 樺太南部 | 貳千九拾七方里六分 |
| 四國 | 壹千貳百貳拾七方里貳分 |
| 諸島 | 壹千參百五拾八方里參分 |

二、七拾八、參千貳百貳拾四、六千四百九拾九、貳萬貳、

以上ノ諸數ノ和ヲ七ニテ割レ (速算)

(筆算)

三、甲驛ヨリ乙驛ノ方へ下ル貳拾壹里ノ坂道アリ人力車ノ速度ハ毎時ニ下リハ參里上リハ貳里ニシテ又其賃錢ハ壹里ニツキ下リハ拾貳錢上リハ拾五錢ナリ今一車夫ガ乙驛ヲ出發セシヨリ參時間後ニ他ノ車夫ガ甲驛ヲ出發シ途中相會シタル處ニテ互ニ其乘客ヲ交換シテ歸路ニ就カントセバ此時兩車中間ノ勘定如何ニセバ可ナルカ (但賃錢ハ各着驛ニテ得ルモノトス)

四、貳ヨリ拾七ニ至ル諸素數ノ連乘積ニ壹ヲ加ヘテ得ル所ノ數ハ素數ナルカ否カ

五、昨朝同時ニ九時ヲ報ゼシニツノ時計ノ一方ガ今朝只今拾壹時ヲ報ズルト同時ニ他ノモノハ拾時五拾分ヲ示セリ然ラバ此際遅キ方ヲ幾許進メ置カバ雙方ガ今夜同時ニ九時ヲ報ズベキカ

六、割引歩合年八分滿期日ハ今ヨリ參ケ月後ナル或ハ金高ノ銀行割引高ト其眞割引高トノ差壹圓ナリト云フ此金高何程ナルカ (各問トモ解式ヲ附記スベシ)

(筆算)

四十二年
三、甲乙丙ノ三數アリ甲乙ノ和ハ六拾五、乙丙ノ和ハ四拾貳、丙甲ノ和ハ五拾參ナリト云フ、各數如何

四、大人五人若クハ小入拾貳人ニテ拾八時間ニ仕上ゲ得ル仕事ヲ大人四人ト子供八人トガ共ニ働キテ幾時間ニ仕上ゲ得ルカ (比例ヲ用キテ解ケ)

五、七萬八千五百圓ヲ七拾參日間借ルニ年七分ノ利率デ借ルト日歩貳錢ノ利率デ借ルト利息ニ何程ノ差アルカ

六、七分ノ五ノ平方根ヲ小數第五位迄求メヨ

各題共運算ヲ明示シ第三、四、五問ハ簡單ナル説明ヲ附スベシ

物理化學

冊八年度
前期

- 一、烟突ノ効用及其理由ヲ説明スベシ
- 二、音ノ傳ハリ方及ビ其速サニ就テ記セヨ
- 三、木片ノ一端ヲ燒キテ頭髮等ニテ摩擦シ輕鉢ニ近クルトキハ之レヲ吸引ス此ノ現象ノ理ヲ説明スベシ
- 四、燃燒ト呼吸トヲ比較スベシ
- 五、水ノ成分ヲ示ス實驗法ヲ記セ
- 六、發酵及腐敗トハ如何ナル事カ
- 一、鹽化水素瓦斯ノ製法性質ヲ記セ
- 二、融解熱氣化熱トハ如何カ特ニ水ニ就テ詳述スベシ
- 三、電信機ニ就テ略記セヨ
- 四、炭水化物トハ如何ナルモノカ之ニ屬スルモノヲ列舉スベシ

全後期

三十九年度

四十年年度

- 五、帆船ガ風力ニヨリテ走ル理ヲ詳論スベシ
- 一、車輪ニ鐵輪ヲ嵌ムルニハ少シク小サク製シ之レヲ赤熱シテ嵌ムルハ何故カ
- 二、羅針盤ノ構造及ヒ作用ヲ問フ
- 三、物體ノ色及ビ光澤ハ何ニヨルカ之ヲ光學上ヨリ説明スベシ
- 四、大氣中ノ炭酸瓦斯ハ如何ニシテ生ジタルカ且之ヲ容易ニ檢出スル方法如何
- 五、石油ノ天産ノ模様及ビ精製法ヲ述ベヨ
- 一、夏日庭前ニ水ヲ散布スルトキハ清涼ヲ覺エ皮膚ニアルコールヲ塗リテ寒冷ヲ感スルハ何故カ
- 二、音ニ高低、強弱ノ別アルハ何ニヨルカ
- 三、舟若クハ車ノ急ニ進マントスルトキ乗客ハ後ニ倒レントシ急ニ止マルトキハ前ニ倒レントス其理如何

度四十一年

- 四、空氣ノ成分ヲ示ス實驗法ヲ記セ
- 五、防腐及ビ消毒ニ就イテ記セ
- 一、湯ヲ沸カス時ニ當リ先ヅ其上面ノ温度高マルハ何故カ
- 二、摩擦起電機ニ發電スル理ヲ圖ニ依リテ説明スベシ
- 三、物體ヲ揚ゲルニ當リ滑車ヲ使用スルトキハ如何ナル利益アリヤ種々ノ場合ニ就テ説明スベシ
- 四、洗濯ヲナス時其効果ナシテ最モ大ナラシメンニハ如何ナル方法ニヨルベキカ其理由ヲモ記セ
- 五、石油ノ天産ノ有様及ビ精製法ヲ述ベヨ

博物

三十八年
度前期

- 一、蛙ノ發生ノ順序ヲ問フ
- 二、例ヲ擧ゲテ十字科植物ノ特徴ヲ述ベヨ

全後期

三十九年
度四十一年

- 三、人ノ齒ノ種類ヲ書ケ
- 四、アキレス腱ノ所在ヲ問フ
- 五、花蓋トハ何カ例ヲ擧ゲテ説明セヨ
- 一、汗腺ノ作用ヲ問フ
- 二、植物ノ呼吸ハ如何ナル方法ヲ以テ知ルヲ得ベキカ
- 三、稻ノ害虫三種ヲ擧ゲテ其分類上ノ位置ヲ記セ
- 四、有蹄類ヲ分類シ各其特征ヲ記セ
- 一、對生葉互生葉輪生葉ニツキ各一例ヲ擧ゲテ説明セヨ
- 二、胃内ニ於ケル食物ノ變化ヲ記セ
- 三、哺乳類トハ如何ナルモノカ例ヲ擧ゲテ説明セヨ
- 四、骨ト筋肉トノ作用ヲ記セ
- 一、梅、柿、梨ノ果實ニツキ異ナレル點ヲ記セ
- 二、循環器及ビ血液ノ作用ヲ問フ

- 三、有益鳥類五種ヲ舉ゲ其中ニテ最モ普通ナルモノ一種ヲ選ビ其習性ヲ述ベ
- 四、蠶ノ發生順序ヲ詳述セヨ

地 理

- 一、北アメリカ洲ノ邦制區分ヲナシイスペイン語ノ行ハル、地方ヲ示セ
- 二、清國ノ總督駐在地及ビ其管轄地方ヲ示セ
- 三、福島縣、神奈川縣、福岡縣、兵庫縣、廣島縣、宮崎縣、佐賀縣、三重縣、島根縣、福井縣 管轄區域并ニ縣廳所在地ヲ示セ
- 四、左ノ問ニツキ知レルコトドモヲ記セ
 - 篠井線、バタビア、根來塗、枝光、ハンブルグ、
- 一、日本ノ氣候ニツキテ説明セヨ
- 二、東京市ノ交通機關ニツキテ述ベヨ

前八年度

全後期

卅九年度

四十年度

- 三、ヨーロッパ洲ノ各國名ヲアゲ國々ニツキテ宗教、國體、政體ヲ記セ
- 四、日本、北アメリカ洲間ノ航路ヲ述ベ北アメリカ合衆國太平洋沿岸地方ノ本邦ト關係アル都市及ビ港ニツキテ記セ
- 五、開城、蘇州、ラングーン、苗栗ノ位置及ビ産物ヲ記セ
- 一、左ノ地ニ接觸スル鐵道線路ノ名稱ヲ舉ゲヨ
 - 金澤、桑名、姫路、小樽、久留米、柏崎
- 二、左記ノ名稱ニツキテ地理學上説明ヲ求ム
 - 鎮南浦、西安府、ラングーン、セントルイス、オリノコ、シドニー、
- 三、我國ノ海流ニツキテ記シ産物ニ及ス影響ヲ説ケ
- 四、アジア洲ニ於ケルイギリス、フランス兩國ノ領地、保護地及借領地ヲアゲヨ
- 一、支那本部ニ於ケル總督駐在地及其各ビ管轄地ヲ示セ
- 二、山陰山陽兩道ヲ地理學上ヨリ比較説明セヨ

(四十一) 年度問題
ハ歴史ノ
次ギニ

- 三、世界ニ於ケル米、ゴム、綿、茶、生絲ノ産地ヲ問フ
- 四、兵庫縣、東京府、千葉縣、岩手縣、三重縣、福岡縣、宮崎縣ノ管轄國名及ビ縣應在地ヲ問フ
- 五、ケープタウン、グアム島、威興、オハイオ川、グラスゴー、ニツキテ知レルコトヲモラ記セ

歴史科

卅八年度
前期
全後期

- 一、生麥事件ヲ記セ
- 二、祭政一致ヲ説明セヨ
- 三、文祿征韓役ヲ記セ
- 四、鎌倉時代ノ宗教ニツキテ述ベヨ
- 一、幕末ニ於ケル征長役ニツキテ記セ
- 二、左ノ各問ニツキテ説明セヨ

卅九年度

(藩) 藩政、國主、城主、三卿 (徳川時代)

(石山城、長島ノ位置及ビ事實)

- 一、承久ノ亂ヲ記セ
- 二、佛敎傳來ニ伴ヒテ生ジタル争亂ヲ記セ
- 一、國會開設ニ至リシ次第ヲ記セ
- 二、徳川五代將軍ノ學事ニ盡シ、事蹟ヲ述ベヨ
- 三、大寶令ノ官制ヲ記セ
- 四、安政大獄ノ始末ヲ記セ
- 五、大國主命ノ御事蹟ヲ述ベヨ
- 一、織田信長ノ事蹟ヲ記セ
- 二、後三年役ヲ記セ
- 三、天孫御降臨ニツキテノ期末ヲ記セ
- 四、下ノ關係ヲ記セ

四十年

四十一年

(地理)
四十一年

- 五、左間ニツキテ述ベヨ
金玉均、若年寄、堀越公方、族制政治
- 一、天智天皇以前ニ於ケル我邦ト三韓トノ關係ヲ述ベヨ
- 二、關ヶ原役ノ原因及結末ヲ述ベヨ
- 三、左ノ各項ニツキテ説明セヨ
國造、部曲ノ民、院宣、五攝家、御朱印船、門跡、
- 一、新橋下ノ關間ノ鐵道幹線ニ接觸スル市ヲ順記シ且商工業ノ有様ヲ附記ス
ベシ
- 二、北海道ノ生業ニツキテ述ベヨ
- 三、楊子江畔ノ貿易場ヲアゲヨ
- 四、左ノ各項ニツキテ知レルコトヲ記セ
リオデ、シアネロ、タコマ、ハンブルグ、ハーグ、吉林、媽
シドニー

躰 操

明治三十八年度後期

(普通)

- 一、美容術 三 八 十二 十九 二十一ノ各節ノ運動
- 二、徒手体操 第一部及二部ノ運動
- 三、囑諭体操 第一部ノ運動 (以上實地)
- 一、遊戯ノ教育的價値ヲ問フ
- 二、体操ノ呼唱ニ就イテ記セ (以上筆答)
- 一、徒手体操 二、各個教練 三、分隊教練 (實地)
- 一、整頓法ヲ教授スル方法ヲ詳述セヨ
- 二、中隊縦隊ニテ行進シツ、アルトキハ障礙物ニ遭遇セシトキ中隊長ハ如何
スベキカ (筆答)

明治三十九年度

(普通)

- 一、美容術 四 十 十五 二十ノ各節

二、徒手体操 第一部全躰ノ運動
三、陸鈴体操 第一部及二部全体ノ運動 (實地)

一、普通教育ニ於ケル体操科ノ目的ヲ問フ

二、遊戲教授上特ニ注意スベキ要件ヲ問フ (筆答)

一、徒手体操 二、徒手各個教練、三、徒手兵隊教練 (實地)

一、速歩ノ要領ヲ詳述セヨ

二、徒手体操各教ノ運動ノ順序及其號令ヲ列舉セヨ

明治四十年度

一、徒手各個運動

二、徒手連續運動

三、陸鈴体操第一 (實地)

一、腹部運動ノ目的ヲ問フ

二、左ノ遊技ニ就テ訓育的目的ヲ述ベ併テ教授上ノ注意ヲ列記セヨ

(兵式)

(普通)

綱引 (筆答)

(兵式)

三十式

二、小隊ノ編成法ヲ詳述セヨ (筆答)

明治四十一年度

(普通)

一、体操科ノ目的ヲ問フ

二、號令ニ就テ知レル所ヲ述ベヨ

三、左ノ運動ニ就テ如何ナル號令ヲ用フルカ

一、下翼直立交互足ノ前出舉踵

二、上翼歩狀ニ直立体後屈 (筆答)

一、左ノ解説

各個教練ハ部隊教練ノ基礎ナリ故ニ綿密ニ意ヲ用ヒ体操補助トナシ十分
格ニ教授スルヲ要ス

二、部隊教練ニ於ケル兩翼嚮導ノ任務 (筆答)

圖畫

三十八年
度前期

全後期

三十九年
度

- 一、器具 臨書 (自在書) 但シ濃淡ヲ附スベシ
- 二、並行二直線間ニ於テ等距離ニシテ尙ホ並行スル數線ヲ引クコト
- 三、三角形ニ内接スル一個ノ圓ヲ畫ケ (用器書)
- 一、草花 臨書 (自在書) 濃淡ヲ附シテ描クベシ
- 二、圓ニ内接シ且ツ互ニ相觸ル、三個ノ等圓ヲ畫ケ
- 三、定四方形ノ正中へ既知ノ邊ヲ有スル正方形ヲ畫ケ 但シ兩正方形ノ各邊ハ互ニ平行ナル場合トス
- 四、直曲線各五個ヲ用ヒテ尋常科ニ適ズル模様ヲ二三工夫セヨ
- 一、器具 臨書 濃淡ヲ附スベシ
- 二、直曲線各五ツニヨリ紋形ニ二三工夫セヨ (自在書)
- 三、三個ノ定點ヲ通ジテ圓ヲ畫クコト

四十年
度

三十九年
度

全後期

四十一年
度

- 四、三角形ニ内觸スル正方形ヲ畫クコト
- 五、圓錐體ノ展開圖ヲ求ム (用器書)
- 一、器具 臨書 但シ濃淡ヲ附スベシ (自在書)
- 二、菱形ニ内觸スル正方形ヲ畫クコト
- 三、半圓周ヲ望ミノ數ニ等分スルコト
- 四、定正方形ノ半積ヲ有スル正方形ヲ畫クコト
- 五、一邊ノ長サヲ知テ正七角形ヲ畫クコト (用器書)
- 一、圓柱ト方錐ト立方體トヲ寫生的ニ畫ケ (以上自在書)
- 二、直曲線各六ツヲ以テ紋形ヲ工夫セヨ (以上自在書)
- 三、三個ノ定點ヲ通ジテ圓ヲ畫クコト
- 四、正多角形ト等積ノ三角形ヲ畫クコト
- 五、三角形ニ内觸スル正方形ヲ畫クコト (以上用器書)

小學校本科准教員

修身科

三十八年
度前期
全後期
三十九年
度
四十年
度

- 一、天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼ス可シ
- 右勅語ヲ解説ス可シ
- 二、完全ナル家庭トハ如何ナルモノナ云フカ
- 一、行政機關トハ如何ナルモノカ
- 二、自由ノ重シク可キ事ヲ説明ス可シ
- 一、自己ニ對スル本務ヲ問フ
- 二、最近ノ史傳中ニ就キ公益事業ノ成身セシ二三ノ例ヲ舉ゲテ公議ヲ批判ス可シ
- 三、地方自治トハ如何ナルモノヲ云フカ

四十一年

- 二、職業ニ對スル本務ヲ問フ
- 一、職業ニ對スル本務ヲ述ベヨ
- 二、公務ニ對スル心得ヲ述ベヨ
- 三、法律ニ違反セザルコトノミナ標準トシテノ行爲ハ未ダ完全ト云フヲ得ズ其理由如何

教授法

三十八年
度前期
全後期

- 一、理科教授ノ目的
- 二、綴リ方教授ニ於ケル訂正法
- 三、教授ノ形式的目的ヲ詳解セヨ
- 一、小學校教員心得
- 二、話シ方練習ノ方法
- 三、地理ヲ授クルニ總合法ト分解法トヲ併用スヘシト云フ例ヲ舉ゲテ之ヲ詳

三十九年度

四十年年度

四十一年度

四十二年

說セヨ

- 一、技能教授ノ段階ハ如何ニスベキカ
- 二、如何ニシテ各科間ノ聯絡ヲトルカ
- 三、ヤマナル範語ヲ以テマテ授クル教授案ヲ作レ
- 一、教授ノ形式的目的トハ何ゾ
- 二、綴リ訂正ノ方法ヲ記セ
- 三、理科教授ノ要旨ヲ述ベヨ
- 一、小學校ニテ始メテ分數加法ヲ授クトシテ教授案ヲ示セ
- 二、綴リ方教授ノ目的ヲ述ベヨ
- 三、理科教授ノ要旨ヲアゲテ説明セヨ
- 四、地圖ノ教育的價值及其利用法ヲ述ベヨ

國語科 (讀解)

三十八年度前期

全後期

一、レセツプスは奮然として起ち遂に身を以て事に當らんと決心せり先づ單身土耳其にゆき諄々として開鑿の必ず着手せざるべからざるを説きて其國議を定め更に英國に赴き反覆陳論して遂にその承諾を得それより各國を歴説して懇にその利害得失を辨じ猜忌の心を解きて協同の心を開きたるに何れも皆贊同の意を表せりこゝに埃及王その主となり佛國之を助け他の諸國またこれが捐金をなすなど彼の志業は今や漸くその緒に就かむとす (全文解釋)

二、指顧の間、經世利民、墮落、壁頭、挑撥、股肱、雌雄を争ふ (傍訓及び意義)

一、知己は敵人にあるのみならず生面の人にもあり或は古人に對してもあり知己の交感は時を問はず處を論ぜず賈生が屈原を慕ひ孟珂が孔子を慕ひ而して孔子が周公を慕ひて我また夢に周公を見ずといひしが如きその言の濃到深切感すべきにあらずやシセロ曰く余に對しては汝はオなほ生けるなり

而して常に生くべしと嗚呼宇宙茫茫と知己ありて以て繋ぐところあり知己なくば人生は荒野のみ荆棘のみ

二 古戰場

小杉樞部詠

いく世をふりしものふの屍にむすや草の原雨ものすむさ夕まぐれ狐かなにかえあすなり

座右銘

松尾芭蕉作

人の短をいふことなかれ己が長を説くことなかれ銘にいはいくものいはいくちびる寒し秋のかぜ

以上第一問第二問執シモ解釋セヨ

三、左ノ各語ニ振假字ヲ施シ意義ヲ説明スベシ

- 一、一、一村十二戸温泉は五個處に涌きて五軒の宿ありこゝは清翠樓と呼べるは南に方りて箒川のゆるぐめぐる磯に臨み俯して水石の聲をたるとを弄び仰げ
- 二、二、遊手、解纜、果報者、強盜、由縁、采幸、狷介不羈、管絃の筵、凱歌の聲
- 三、三、左ノ各語ニ振假字ヲ施シ意義ヲ説明スベシ

三十九年

は西に富士喜十六の翠巒と對して清風座に滿ち袖の澤を落ちくる流は二十丈の絶壁に懸りて素練を垂れたるが如き吉井瀧あり東北は山また山を重ねて瑛軒の玉簾深く一望の下丘壑の宮を擅にし杯泉の奢を窮めらるゝなど又あるまじき別境なり

われはこの繪を見るが如き清穩の風景にあひてかの途上險しき巖と峻しき流とのために幾度か魂飛び肉消えて理むる方なくかさ亂されし胸の内は蕩然として頓に和ぎ恍然として總て忘れたり

二、位山のぼるもくるし老の身は

ふもとの里ぞすみよかりける

(源光圀)

からかさにもしわけ見たる柳かな

(松尾桃青)

以上二問ハ詳解スベシ

三、需用供給、聯歩快談、狂飮、詐偽、進化、國語國文、

右ハ振假字ヲ施シ並ニ其意義ヲ説クベシ

一、われ等二人は興に乗じ聯歩快談はやくも天地深寂たる森戸川の橋上にてたり候ふ月は將にわれ等の帽簷にさしり上り候ふ清光は隈なく相摸洋より伊豆の島々を照し候ふ海上に天あり天上に海あり月は海上にあるか波は天上にあるか月と共に湧き來る高潮は寄せて捲きて碎けて散りて黄金の波となり白金の浪となり真珠の濤となり錦繡の瀾となり天地の心をいひやぶる雄大玄深なる音楽を奏し候ふ

二、遠くなり近くなるみの濱ちどりなくねに潮のみちひをぞしる
血をふむぬすみの音の夜さむか

以上二問、ハ詳解スベシ

三、左ノ各語ニヨミ假字ヲツケ且ツ其意義ヲ説クベシ

逆旅、仔細、殺風景、建言、看板、海參、玳瑁の玉簾、郷關、新機軸、斷食、

一、左ノ文章ヲ解釋スベシ

かくて余が特に山陽を表彰せざるべからざる尙他の理由あり余嘗て江木鱒水の作りたる山陽先生行狀を讀みその「常曰謂我才子未悉我者也謂我能刻苦真知我矣」といふに至り私にその實を失へるにあらざるかを訝りしが後彼の「前兵兒語」並に「蒙古來」の原稿を観るに及びその苦心經營一句も苟もせざりし實迹を審にしかつその古賀穀堂を訪ひはじめその千言立成の敏才に驚きしも數月を隔て、再び訪ひたる時その文稿の依然として改削するところなかりしを観てこゝに興し易きのみを念を起したりといへる逸事ゝるに景慕の情を催したり蓋し創意の才に必ず刻畫の力と相待ちて後始めと絢爛の華彩を發すべし彼の好句天成といふもの豈に必しも「吐屬輒成章」の謂ならじや余が山陽を惜む第四の理由とするはすなはちこの經營刻畫の魂氣のみ

二、左ノ文章ニ漢字ヲ填充スベシ

めいごうしんごのしんごにちほいなるえいごよりあたへたるはせらよ
 一しそーのゆに。一なり。しかしてそのしーからし。としてもつともな
 るはふくちんはゆちなり。ゆちちほせんのかはなかつのはんじなり
 ちんちののちちちちちちしなひしかはのてひとつたそだてられしが、
 じ。一しちのときよりかんかくをまなび、にじ。一ちのときまな
 ちにゆきてちらんだごをまなびたり、よくねんちほさかにいそをがたこ
 あんにつきてまたこれをまなび、めんせいごねんはじめてえごにいで、
 ほうすのはんにいじ。くをひらきてはんのしてにこれをまなび、にじ。せり
 三、左ノ韻文ヲ高等小學第四學年程度ノ兒童ニ解シ得ルホドニ詳釋スルニ
 うぐひすの身をさかすまに初音がな。
 さしてゆく笠置の山をいでしより
 あめがしたにはかくれがもなし。
 さわらびははきかたを振り上げて

やまのかたつらはるかぜぞよく。

國語 (作文)

- 三十八年度前期
 - 一、植物採集ノ記 (普通文)
 - 二、出征軍人の家族を慰問する文 (手紙の文)
- 全後期
 - 一、観菊ノ記
 - 二、體育獎勵會參觀誘引の文
- 三十九年度
 - 各文章用紙ヲ別ニスヘシ
 - 一、日曜ノ娛樂 (普通文)
 - 二、轉宅を報する文 (日用文)
- 四十年年度
 - 各題別ノ紙ニ記スヘシ
 - 一、孝ノ百行ノ基ナリ

四十一年

- 二、在京の友た某校の状況を問ひ合する文
- 一、國民教育者の責任を論ず (普通文)
- 二、書籍購求を依頼する文 (候文)

國語 (習字)

- 勳與神合靜與道俱 (楷行草各一紙ニ書スベシ)
 - 人事有憂樂山光無古今 (楷行各一紙ニ書スベシ)
 - 孝以承親忠以奉上實國之楨 (楷行二体各紙ニ書スベシ)
 - 紅蓮紫菊新詩奇文章段句讀 (楷行各紙ニ書スベシ)
 - 萬歲千秋樂未央 (楷行草各紙ニ書スベシ)
- なにはつにさくやこのはなゆこものいふまはるゝとちやこのはな
(字体適宜)

三十八年 度後期 全前期 三十九年 四十年 度 四十一年

三十八年 度後期

算術 (珠算)

- 一、左ノ目方ノ合計 (速算)
 - 七拾八貫參百目、五拾貳貫五百參拾目、四拾貫參百目、參拾七貫貳拾目、貳拾八貫五百參拾目、拾八貫五拾目、五貫參百五拾目
- 二、左ノ反別ノ合計 (速算)
 - 拾貳町參反八畝拾五步、貳拾壹町參反拾五步、拾八町五反八畝貳拾八步、九町七反五畝貳拾七步、八町五反四畝貳拾六步、拾八町參反壹畝五步

全 (筆算)

三、左ノ式ヲ最モ簡單ニセヨ

算術

$$\begin{array}{r} 2 \\ \times 2 \\ \hline 4 \\ \times 2 \\ \hline 8 \\ \times 2 \\ \hline 16 \\ \times 2 \\ \hline 32 \\ \times 2 \\ \hline 64 \\ \times 2 \\ \hline 128 \end{array}$$

四、或ル數ガ九デ割り切レルナラバ其ノ數ノ數字ヲ異リタル順ニ書キ並ベテ得ベキ數モ亦九デ割り切レル其理由ヲ説明シ且ツ例ヲ舉ゲヨ

五、甲乙二人協カスレバ二十五日間ニ成就スベキ仕事アリ此仕事ヲ最初甲一人ニテ二十日間ニナシタル後ヲ殘業ヲ乙一人ニテ三十二日間ニテ成就セリト若シ此仕事ヲ各一人ニテ成就センニハ何日ヲ要スルカ

六、金百參拾六圓五拾錢ヲ仲買ニ托シ物品ヲ買ヒシニ其内ヨリ買價ト五分ノ口錢トヲ拂ヘリ物品ノ買價及口錢幾何

全 (珠算)

全前期
一、百二十石九斗二升

内引く 七石一斗九升六合 全十二石三斗八升

全 七斗九升二合二勺

一、ましては拾八石二斗七升 全百〇二石七合五勺

全 拾一石三斗 全四拾五石二斗二升五合五勺

二、拾五里六町三間二尺

加へル 拾里五町三尺 合計ヲ拾五倍セヨ

全 (筆算)

三、左式ヲ最簡單ニセヨ

$$\begin{array}{r} 1 \\ 2 \quad + \\ \hline 22 \\ 1 \\ 5 \quad + \\ \hline 3 \\ 8 \quad + \\ \hline 4 \end{array}$$

四、若干ノ數ノ公約數ハ其ノ等ノ數ノ和ノ約數ナリト云フヲ例ヲ舉ゲテ解

釋セヨ

五、戦地へ一隊ノ兵ヲ出シ、ニ第一回ノ戦争ノ終リシトキ其兵員ノ五分ノ一ヲ減ジタリ依リテ更ニ五千人ノ援兵ヲ送り第二回ノ戦争ヲ終ヘシトキハ六分ノ時ノ兵員ノ十三分ノ一ヲ減ジテ殘兵一萬二千人トナレリ始メニ出シ、兵數如何

六、甲乙丙三人共ニ商業ヲ營ミシニ其出資金ノ比ハ五ト三ト二トノ如ク出資ノ月數ノ比ハ四ト六ト七トノ如シトサレバ利益金千〇四拾圓ヲ如何ニ分配スベキカ

全 (珠算)

三十九年

一、左ノ金高ヲ合計 (速算)

拾七錢九厘、參圓八拾六錢五厘、七錢四厘、拾錢壹厘五毛、貳拾參圓六拾八錢、百拾九圓七拾六錢五厘、千五百九十八圓五錢七厘

二、次ノ反別ノ合計

參町八反九畝拾五步、五町壹反七畝貳拾七步、貳町六畝五步、七町九反貳拾四步、九反七畝拾參步

全 (筆算)

三、次ノ式ヲ計算セヨ

$$\left(2\frac{2}{7} + 5.3\right) \times 4\frac{3}{8} \div \left(6 - 4\frac{2}{5} \left(\div \frac{12}{25}\right)\right)$$

運算ヲ明示スベシ

四、或水夫延長二十四里ノ河流ヲ往復スルニ上リハ十二時間下リニハ四時間ヲ要セリ毎時水夫ノ漕グ速サ及ビ水流ノ速サ幾許ナルカ

解釋及答ヲ記セ

五、音響ノ傳ハル速サハ一秒ニ付 330 メートルとるナリ今電光ヲ見タル後五秒半

ニ雷鳴ヲ聞キタリトセバ此雷ヲ起セル雲マデノ距離ヲ計算セヨ (町マテ求メ以下四拾五入セヨ)

運算ヲ明記スベシ

六、馬三頭七日間ノ飼料トシテ麥六斗三升ヲ要スル割合ニテ馬五頭十五日間ノ飼料ニ幾許ノ麥ヲ要スルカ

此例式ヲ用キテ解答ヲナセ

全 (珠算)

一、次ギノ合計ヲ求メヨ (速算)

六拾八貫九百八拾五匁、百五貫七百八拾五匁、

參拾五貫六百貳拾六匁、貳拾八貫六百貳拾八匁、

拾貳貫參拾九匁、

二、五百七拾八個六分九釐、加ヘル六百貳個參分七釐、加ヘル九百六拾個貳

四十年度

釐、引ク貳千四拾個八釐 (速算)

全 (筆算)

三、甲乙ノ二數アリ其和ハ987654321ニシテ乙ハ甲ノ七倍ヨリモ九ダケ多シト云フ甲ヲ求メヨ

四、次式ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{\left(\frac{4\frac{1}{3}}{3}-1\right)}{\left(\frac{4\frac{1}{3}}{2}-1\right)} + 5\frac{1}{6}$$

五、甲乙二人ノ歩ム速サノ比ハ9ノ10ニ於ケルガ如クニシテ甲ガ日ニ八時間宛歩ミテ百四拾四里ノ道ヲ拾五日間ニ行クナラバ乙ハ日ニ七時間宛歩ミテ貳百五拾貳里ノ道ヲ行クニ幾日ヲ要スルカ

六、定價ニテ賣レバ一個ニ付貳圓ノ利益アル品物若干個ヲ定價ノ九掛ケニテ

賣リシニ恰モ原價ノ壹割ニ當ル利益ヲ得タリト云フ其一個ノ定價及ビ原價各幾何ナルカ

特ニ第三第五ノ二問ハ式ヲ附シ第六問ハ解式ヲ附スベシ

各題共簡單ナル説明ヲ與ヘ、運算ヲ明示セヨ

四十一年

三、鶴ト龜トノ足ノ數合ハセテ參拾四ナリ若シ頭數ニ於テ鶴ト龜トガ入り替リ居タランニハ足ノ數合ハセテ參拾八アリシナラント云フ、鶴ト龜トノ頭數各如何

四、時計ノ兩針ガ七時ト八時ノ間ニ於テ重ナリ合フ時ヲ問フ

五、甲乙丙三村聯合シテ一ツノ小學校ヲ建築セントス其費用五千六百四拾圓ナリ、各村ノ負擔額ハ各村ヨリ納ムル所得稅高ニ比例スルモノトシ甲乙丙

三村ノ所得高ヲソレソレ六百四拾六圓、九百七拾八圓、貳百五拾六圓トセハ各村ノ負擔額如何

六、割引歩合年九分、參ヶ月拂額面貳千四百圓ノ爲替手形ノ振出シノ日ヨリ

壹ヶ月後ノ價如何

理科 (物理、化學)

一、輕氣球ノ空中ニ上昇スル理如何

二、凹面鏡ニヨリテ生ズル物体ノ像ヲ圖解セヨ

三、燒然ト呼吸トノ關係ヲ問フ

四、單体ト元素トノ區別如何

五、砂糖ニ就キテ知レル所ヲ記セ

一、例ヲ舉ゲテ光ノ屈折ヲ説明セヨ

二、滲透作用トハ何か

三、蓄電器ノ構造及其作用ヲ説明セヨ

四、次ニ記セルモノ、性質及製法ヲ述ベヨ

全後期

三十一年
度前期

無水炭酸(硝酸)

五、石油、火綿、にこちん

右ノモノニツキ知レル所ヲ記セ

一、例ヲ舉ゲテ原動ト反動トヲ説明セヨ

二、驗電器ノ構造及其作用ノ理由ヲ問フ

三、實驗法ノ一ヲ示シ空氣ニ壓力アルヲ證セヨ

四、石油ニツキ知レル所ヲ記セ

五、水素ノ製法及性質ヲ問フ

一、實驗法ヲ示シ液俵ノ壓力ハ其深サニ比例スルモノナルコトヲ説明セヨ

二、融解熱及氣化熱トハ何ゾ

三、水素ノ製法及性質ヲ問フ

四、燃燒ト呼吸トヲ比較セヨ

三十九年

四十年度

四十一年

一、電車ノ運轉スル理由ヲ記セ

二、水蒸氣ト湯氣トノ差異及ビ冬季寒冷ノ朝、池水面ニ湯氣タチ夏季ニ水ニ

湯氣タツ其理由ヲ問フ

三、鹽素ノ製法及ビ用途ヲ問フ

四、物質ノ不滅ヲ證明セヨ

理科(博物)

一、葉ノ生理作用ヲ問フ

二、蠶ニ就キテ知レル所ヲ記セ

三、植物ノ人生ニ對スル關係如何

四、皮膚ノ構造ヲ問フ

五、人類消化器ノ構造ノ大要及其衛生法如何

二、あやめノ花ニツキ知レル所ヲ述ベヨ

三十八年

全後期

三十九年
三十八年

- 二、植物ノ種子ハ如何ニシテ分布セラレカ
- 三、珊瑚島ハ如何ニシテ生ズルカ
- 四、動物界ニ於ケル淘汰色トハ如何例ヲ舉ゲテ説明セヨ
- 五、人ノ目ノ構造及其作用ヲ問フ
- 一、單子葉植物ハ特點ヲ以テシテ如何ニシテ生ズルカ
- 二、植物蕃殖法ニツキテ知レル所ヲ述ベヨ
- 三、魚類ノ呼吸器ノ構造及作用ヲ問フ
- 四、細菌類ニ屬スルモノニテ其ニツキテ知レル所ヲ記セ
- 五、眼ノ構造、作用、及衛生法ヲ述ベヨ
- 一、植物ト外圍トノ關係ヲ問フ
- 二、人体呼吸器ノ構造及其攝生法ヲ問フ
- 三、生物界ニ行ハル、自然淘汰トハ如何
- 四、かたつじりニツキテ知レル所ヲ記セ

四十年度

四十一年
三十八年

- 一、双殼類ノ構造ヲ記セ
- 二、竹稈ノ構造及ビ其ノ一定ノ大サニ達スレバ成長セザル理由ヲ問フ
- 三、呼吸運動ニツキテ説明セヨ
- 四、稻ノ害虫二種(分類上異ナルモノ)ヲ選ビ其習性ヲ略述セヨ

地理

- 一、露國ノ畧地圖ヲ描キテ各州ノ區劃都市ヲ記入スベシ
- 二、北アメリカ合衆國ノ鐵道系ニ就テ記セ
- 三、奥羽地方ノ牧畜業ト林業トニ就テ記セ
- 四、臺灣島ノ軍備ニ就テ記セ
- 五、餘部、壽都、濟南、モロッコ
- 右所在地ト著名ナル事實ヲ記スベシ
- 一、東清鐵道ノ略圖ヲ描ケ

全後期

地理

三十九年度

四十年年度

- 二、北海道ノ水産ト礦産トニ就テ知レルトコロヲ述ベヨ
- 三、イタリヤノ氣候ヲ説キテ農産物ヲ舉ゲヨ
- 四、ブラジルノ地勢ヲ述ベヨ
- 五、赤阪、柳川、ボルチモア、マロンゴ

右所在地ヲ示シテ知レル事柄ヲ記セ

- 一、奥羽六縣ヲ略圖シテ國並ニ縣ノ區劃ヲ示シ著明ナル山川ヲ記入スベシ
- 二、我國年々人口ノ増加數並ニ左ノ各都市ノ人口數ヲ述ベヨ
東京、大阪、名古屋、札幌、高松、門司
- 三、地震ノ原因ヲ述ベヨ
- 四、イギリス國ノ炭田ト工業トノ關係ヲ述ベヨ
- 五、蘇州、マロンゴ、リチモンド、媽宮、鉄肥、
右所在地ト地理學上ノ事實ヲ述ベヨ
- 一、我國蠶業牧畜業ニ就キテ知レルトコロヲ述ベヨ

四十一年度

三十八年度前期

- 二、臺灣ノ略圖ヲ描キテ山川都市鐵道ヲ記入スベシ
- 三、南アメリカ洲ノ水系ニ就キテ述ブベシ
- 四、印度東諸島ト西印度諸島トノ地勢ト物産トヲ比較スベシ
- 一、我邦ノ軍港、要港、要塞ノ所在地ヲ示セ
- 二、南北アメリカノ地勢ヲ比較セヨ
- 三、韓國ノ政府ニツキテ知レルトコロヲ記セ
- 四、北海道近海ノ海流ト水産業トニツキテ記セ
- 五、左問ニツキテ知ルトコロヲ記セ
大邱、長春、マルセイユ、カイロ、オタワ

歴史

- 一、上古氏族部民ノ制ヲ記セ
- 二、樺太島ト千島トノ交換顛末ヲ記セ

全後期

- 三、基督教ノ傳來ニ就テ記セ
- 四、鎌倉時代ノ風俗ヲ記セ
- 一、大化以前ニ於ケル我國ト韓土トノ關係ノ大畧ヲ述ブベシ
- 二、廢藩置縣トナリシ次第ヲ述ブベシ
- 三、徳川家康文學ヲ獎メシ有様ヲ述ブベシ
- 四、土佐光長、鴨長明、湛慶、加藤景正、
右何時頃ノ人ニシテ何ニヨリテ著明ナルカ
- 一、足利時代ニ起リシ宗教ニ就テ述ベヨ
- 二、上古山陵ノ制ヲ述ベヨ
- 三、雄略天皇ノ御治績ヲ問フ
- 四、征韓論ノ顯末大略ヲ問フ
- 二、崇神天皇ノ御治績ヲ舉ゲヨ
- 二、徳川時代尊王主義ノ原因ト之ニ關係セル人々トヲ舉ゲヨ

四十年度

三十九年度

四十一年度

卅八年度

- 三、足利氏ノ末ニ於ケル九州ノ群雄割據ノ形勢ヲ述ブベシ
- 四、鎌倉武士ニ就キテ知レルトコロヲ述ブベシ
- 一、ペリー提督來朝始末ヲ記セ
- 二、立入宗繼、法然上人、林子平ハ何時頃ノ人ニシテ如何ナル事蹟ヲ有スルカ
- 三、推古時代ノ美術工藝ニツキテ記セ
- 四、明治時代ニ於ケル日韓交渉顯末ヲ略述スベシ

圖畫

- 一、任意ノ器具ノ圖ヲ描ケ (自在畫)
- 二、邊ノ長サヲ知リテ任意ノ正多角形ヲ畫クコト
- 三、方柱ノ断面ニ三ヲ表ハセ
- 四、正七角形ノ一角度ハ幾度ナルカ (用器畫)

全後期

圖 畫

一四〇

卅九年度

四十一年度

四十年

- 一、果實二三ヲ描ケ（自在畫）意匠隨意タルベシ
- 二、既知ノ三角形内ニ最大ナル正方形ヲ畫ケ
- 三、半圓弧ヲ以テ定圓ノ積ヲ等分セヨ
- 四、一角ヲ以テ水平面ニ立テル正五角板面ガ複角ニ於ケル場合ノ投影ヲ求ム
- 一、硯ト筆ト筆洗トヲ畫ケ（自在畫）但配置ヲ工夫シ濃淡ヲ附スベシ
- 二、定圓ヲ同心圓ニテ等積ニ且ツ若干數ニ分割スルコト
- 三、正八角板面ガ複角度ニ於ケル場合ノ投影ヲ求ム（用器畫）
- 一、各自ノ任意ニ適宜ノ圖ヲ描ケ（自在畫）
- 二、半圓周ト同長ノ直線ヲ求ムルコト
- 三、定五角形ト等積ノ三角形ヲ畫クコト
- 四、正五角錐體ノ正面平面側面及ビ剖展ノ各圖ヲ畫ケ
- 五、曲線ト直線各六ツニヨリ紋形ヲ工夫セヨ（用器畫）
- 一、器具ノ臨畫、但シ濃淡ヲ附スベシ（自在畫）

- 二、正八角板面ガ複角度ニ於ケル場合ノ投影ヲ求ム
- 三、菱形ニ内觸スル正方形ヲ畫クコト
- 四、半圓周ヲ望ミノ數ニ等分スルコト

躰操

徒手各個運動、徒手連續運動、啞鈴體操、球竿體操ノ内、小隊教練マデ、

普通兵式

圖 畫

一四一

尋常小學本科准教員

修身

卅八年度前
全後期
卅九年度
四十年
四十一

- 一、我國ハ如何ナル國體ナルカ
- 二、和順ノ德ヲ説明ス可シ
- 一、勇氣トハ何カ
- 二、品性ハ如何ニシテ修養スベキカ
- 三、博愛ト戦争トハ全ク併立セザルモノナルカ
- 一、社會ト國家トノ異ナル點ヲ比較シテ區別スベシ
- 二、法律命令トハ何カ
- 一、交際ノ要義ヲ問フ
- 二、立憲政體トハ如何ナルモノヲ云フカ
- 一、區裁判所ハ何ヲ取扱フ役所ナルカ

卅八年度
前期

全後期

卅九年度

- 二、國體トハ何ヲイフカ
 - 三、公益ヲ廣メ
- 右聖旨ヲ問フ實例ヲ舉ゲテ答フベシ

教育 (教授法)

- 一、諸算教授ノ方法
- 二、体操教授ノ目的
- 三、綴リ方教授ノ材料ハ如何ナルモノヲ採ルカ之ヲ詳説セヨ
- 一、問答法ハ如何ナル場合ニ用フベキカ且其要件ヲ記セ
- 二、綴リ方教授ニ於テ自作文ノ訂正法及訂正後ノ取扱方如何
- 三、算術科ニ於テ生活上必須ナル知識ヲ授クルニハ如何ナル教材ヲ用フレバ可ナルカ
- 一、分解法總合法ノ例ヲ舉ゲテ説明スベシ

四十年度

- 二、話方練習ハ如何ニシテナサシムルカ
- 三、体操科ヲ課スルトキ注意スベキ事柄ヲ記セ
- 一、教授ノ段階ヲ説明セヨ
- 二、問答法ヲ適用スル場合及ビソノ要件ヲ記セ
- 三、心算教授ノ方法ヲ述ベヨ
- 一、直覺的教授トイフコトヲ解セヨ
- 二、國語教授ノ目的ヲ詳説セヨ
- 三、臨書ヲ授クル方法

四十一年度

國語 (讀解)

一、すべて文學は太平の時に榮えるのがつねであるが戰國以來久しく衰微し

てみた文學はこゝにおいて種々の方面に起つてきた芭蕉の俳諧西鶴の小説
いづれも此時代の珍とすべきものであるがこゝに異彩を放つものは近松門
左衛門の淨瑠璃である

二、ひとすぢなりし物まなび昔賢き人たちも難しとをほも敬きけり命は數へ
もあへぬまでわかれたるをばいかにしてあほよそ人のなしうべき

三、帝國議會は天皇が立法權を行ひになるに當て之に與るばかりでなく又
出入の豫算を協賛する權限を有してゐる又各議院は獨立して上奏し建議し
且臣民の請願を受けることができる

四、不束、翻譯、影響、楨杆、牴觸、葉綠體、裝潢、表彰、端緒、右一、二
三問ハソノ意義ヲ解釋シ(四)問ノ字句ニハ讀假名ヲ施シテ詳解スベシ

一、明治維新ノ大業ハモトヨリ上皇室ノ御稜威ニヨリ下勤王家ノ之ヲ助ケマ
ツリシニヨルトイヘドモマタ宜長ノ如キ國學者ノ太イニ名分ヲ正シ國體ノ
發揮ニ勉メテ人心ヲ刺擧セシニ依ルコト多シ明治十六年朝廷宜長ノ功ヲ追

全後期

賞シテ正四位ヲ贈ラレタリ

二、日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論著作印行集會及結社ノ自由ヲ有ス

三、殊に近來ハ海軍力ノ國勢に及ぼす影響愈重大に候ゆゑ小生等の任務一層重大と心得候事に臨みて決して不覺の振舞は致すまじく候間何卒御休意下さるべく候先は小閑に任せて概況御通信申上候敬具

四、還俗、律令、涉獵、冶金、傍系親、同化作用、會釋、やがて、そとろに、たま〜、

五、子供の着物の袖。老人の顔の皺。茶を呑む。輕業。學校へ行きて生徒を教ふ。

(一)二問ハ解釋シ(三)問ハ口語體ニ直シ(四)問ノ字句ニハ詳解ヲ附シ(五)問ニハ振假名ノミヲ附スベシ

一、海水は海岸において烈しき波濤をおこし岩石の裂目に非常なる勢にて侵入しまた岩片とともに砲彈の胸壁をくづすがごとき作用をなしてしば〜

卅九年度

之ヲ破襲しはなはだしきは大きいなる岩窟を作る

二、ひとすぢなりし物まなび昔賢き人たちも難しとなほも歎きけり今は數へ

もあへぬまでわかれたるをばいかにしてあほよそ人のなしうべき

三、曹達、素焼、瓦斯、割烹、吹雪、

四、意匠、軌道、淘汰、藍綬褒章、しどろもどろ

右(一)(二)ハ全文ヲ解釋シ(三)ハ振リ假名ヲ附シ(四)ハ詳解スベシ

一、百折たわまぬ精神は貴ぶべきがかぎりなり千辛萬苦はなにならず成功導く良教師千辛萬苦はわれどちの力をためす試金石 右假名ヲ附シ且ツ意

解スベシ

二、左記ノ文字ニ假名ヲ附シ且ツ意解スベシ

通辯、朦朧、安寧、秩序、奢侈、還俗、翻刻

三、左記ノ各語句ヲ意解セヨ

晴れたる空ののどけさよ。ものゝめやめもわかたず。かゝはるものか

四十一号

四十年度

一、明治維新の社會に大なる影響を與へたるは西洋思想の輸入なり
 二、日新の知識を與へ獨立自尊を主義として國家有用の材を養成す

右二問ハ解説スベシ

三、晩餐、障礙、會長、寂寞、盈虧、

右ハ讀ミ假名ヲ附スベシ

四、さかんしや、ほんさい、さびん、ふぶき、ゆまかげ、

右ハ漢字ニ改ムベシ

算術 (珠算)

- 一、金百四拾六圓
- 二、内引く拾六圓四拾壹錢、尙引く壹圓拾五錢、尙引く拾九錢壹厘、さしては五圓六拾八錢七厘

尙さしては七圓九拾五錢七厘、

尙さしては壹圓六拾八錢五厘、

引いては拾壹圓拾壹錢貳厘 (速算)

二、米五石一斗三升五合、さしては四石二斗一升三合、

尙さしては一斗二升六合、尙さしては四斗八升六合二勺、

右石數ヲ拾五倍セヨ (速算)

全 (筆算)

三、左ヲ最簡單ニセヨ

$$\begin{array}{r} 23 \\ 4 \overline{) 83} \\ \underline{8} \\ 3 \\ 3 \\ \underline{3} \\ 0 \end{array}$$

四、小數ニ小數ヲ乘ズルニハ如何ニスベキカ

五、蒸溜水一立方糎重量一瓦ナリトスルトキハ一立方尺ノ蒸溜水ノ目方何貫何匁何分ナルカ

六、男女ノ傭工アリ女ノ數ハ男ニ貳倍シ毎日一人ノ賃金男二十五錢女ハ十七錢ニシテ共ニ貳日働作スレバ其總賃金女ハ男ヨリ三十六錢多シトイフ各人數如何

全 (珠算)

全後期

一、左ノ石高ノ合計 (速算)

五拾八石貳斗五升、拾七石壹斗八升四合、貳拾壹石壹升五合、參拾四石五斗貳升九合、拾七石參升貳合、四拾石五升七合、

二、左ノ段別ノ合計 (速算)

五町四反五畝參步、參町四反八畝拾貳步、壹町五反壹畝拾五步、貳町參反八步、九町七反五畝八步、

全 (筆算)

三、左ノ式ヲ最簡ニセヨ

$$\begin{array}{r} 2\frac{1}{2} + 3\frac{1}{4} \\ \hline 1\frac{1}{3} + 3\frac{1}{2} \end{array} \times \frac{1}{2}$$

四、米百二十俵ヲ買ヒ之ヲ船ニ積ミ某地ニ送リシニ運賃トシテ其米四俵ヲ却

ヒ殘米ヲ一俵六圓ニ賣リ八十四圓ノ利ヲ得タリト然ラバ一俵ノ買價如何

五、小數ノ割算ニ於テ實ガ整數ニシテ法ガ小數ナル場合ニハ如何ニスベキカ

例ヲ擧ゲ説明セヨ

六、牧草ヲ刈ルニ甲ハ三日ニシテ其九分ノ五ヲ刈リ乙ハ四日ニシテ其三分ノ

二ヲ刈ルトイフ甲乙共カスレバ全草ヲ何日ニシテ刈リ終ルベキカ

卅九年度

全 (珠算)

一、左ノ金高ノ合計 (速算)

拾六錢九厘、參錢七厘、拾錢壹厘五毛、貳錢八厘、七拾四錢五厘、壹圓五拾六錢七厘、參圓九拾九錢八厘、

二、左ノ石高ノ合計

壹石五斗六升、參升八合七勺、拾四石九斗五升參合、貳斗八升九合、五石壹斗七升六合五勺、壹合五勺、七石九升四合六勺、

全 (筆算)

三、次ノ式ヲ計算セヨ

$$\left(\frac{1}{14} + \frac{12}{35}\right) + \left(\frac{5}{6} - \frac{1}{15}\right) \quad \text{運算ヲ明示スベシ}$$

四、蜜柑若干個ヲ童子若干人ニ分與セントスルニ一人ニ付五個ヅ、與フレバ

十五個餘ルニヨリ七個ヅ、與ヘタルニ十九個不足セリ蜜柑及ビ童子ノ數ヲ求メヨ

解釋及答ヲ記セ

五、東京新橋、京都間ノ鐵道哩程381哩ナリ一哩ヲ0.381里トシテ之ヲ里町間 (以下切り捨テ) ニ直セ

運算ヲ明記スベシ

六、甲ト乙トノ地所アリ其面積ハ同シケレドモ間口ノ比甲ト乙トハ七ト五トノ如シ甲與行十二間ナルトキハ乙ノ與行何程ナルカ、比例式ヲ用キテ解答ヲナセ

全 (筆算)

三、父ハ滿四拾參年母ハ滿參拾五年子ハ滿拾貳年ナリ父母ノ年齡ノ和ガ子ノ年齡ノ五倍トナルハ今ヨリ幾年ノ後ナルカ

四十年度

四十一年度

- 四、直徑貳町カハル圓ノ面積ノ段別幾何ナルカ (步未滿ハ四捨五入セヨ)
- 五、乙ハ甲ノ拾八分ノ五ニ等シク丙ハ甲ノ拾貳分ノ七ニ等シ而シテ乙丙ノ和ハ參拾壹ナリ各數ヲ求ム
- 六、牛七疋若クハ馬拾壹頭ヲ百拾壹日間飼養スルニ足ル牧草ヲ以テ牛五疋ト馬八頭トヲ幾日間飼養スルコトヲ得ルカ

以上各問トモ答式ヲ記シ且第三第五ハ簡單ナル説明ヲ附スベシ

全 (筆算)

- 三、月俸若干圓宛受クル官吏アリ始ノ五ヶ月ハ毎月六拾四圓宛消費シタルガ故ニ若干ノ負債ヲナシタルニヨリ月費ヲ四拾圓宛トナシタルニ其ノ後七ヶ月ニテ丁度前ノ負債ヲ償却シタリトイフ月俸額幾許ナルカ
- 四、壹立方センチメートルノ水ノ重量壹瓦ナリトスル時ハ壹立方尺ノ水ノ重量ハ何貫何匁何分ナルカ (分位マデ求メ以下四捨五入)

卅八年度前期

全後期

- 五、或ル人其ノ財産ノ四分ノ一ヲ妻ニ其ノ残りノ拾五分ノ貳宛ヲ參人ノ女子ニ其ノ残り唯一人ノ男子ニ與ハシニ男子ノ得タル金高ハ五千四百圓ナリトイフ此ノ人ノ財産スベテ幾許ナルカ
- 六、六頭ノ馬ガ拾五日間ニ拾貳町步ヲ耕サバ參拾頭ノ馬ハ參拾貳町步ヲ幾日間ニ耕スベキカ

以上各問共答式ヲ記シ且簡單ナル説明ヲ付スベシ

國語 (作文) (習字)

- 一、我家ノ庭園ノ景色 (普通文)
 - 二、手作りの花を贈る文 (手紙の文)
- 各文別ノ紙ニ認ムベシ
- 善惡正邪是非曲直 (書體隨意)
- 一、秋ノ日山ニ遊ブ

卅九年度

- 二、庭に生ひたる菊を贈る文
 - 各文別ノ紙ニ認ムベシ
- 北海道阿波讀岐伊豫土佐 行書體ニテ認ムベシ
- 一、忍耐 (普通文)
- 二、徴兵検査に合格したる人に送る文 (手紙の文)

以上各題別ノ紙ニ認ムベシ

山花水鳥皆知己 (楷行二体各紙ニ書スベシ)

一、梅を観る記

二、梅花を贈る文

運送峻速相併行 (楷行二體各紙ニ書スベシ)

一、衛生ヲ重ズベシ

二、衛生談話會を開催するについて父兄に遺る案内狀

(二ハ口語文体ヲ避クベシ)

四十一年度

四十年

卅八年度

前期

後期

全後期

貧富強弱春夏暑涼 (楷行二体一紙ニ二行ニ書スベシ)

とりとるべからず (一紙ニ書スベシ)

理科

一、水ヨリ輕キ物体ノ比重ノ測定法ヲ問フ

二、さいふあんニヨリ水ヲ一器ヨリ他器ニ移スルト得ルノ理如何

三、炭酸瓦斯ノ成分及性質ヲ問フ

四、單子葉植物ト双子葉植物トノ主ナル差異ノ點ヲ舉ゲヨ

五、人齒ノ構造ヲ問フ

一、あぶらなニツキテ知レル所ヲ述ベヨ

二、水ガ表面ヨリ氷結スルノ理如何

三、酸素ノ製法及性質ヲ問フ

四、いかニツキテ知レル所ヲ述ベヨ

卅九年度

- 五、人類ノ呼吸作用ト植物トノ關係如何
- 一、いねニ就キテ知レル所ヲ記セ
- 二、鶏卵ノ構造ヲ開フ
- 三、人体排泄器ノ構造及其作用ヲ問フ
- 四、アルキメデスノ原理ヲ詳説セヨ
- 五、鹽酸、砂糖、硫黄ニシテ知レル所ヲ記セ
- 一、稻ノ花ノ構造ヲ圖解セヨ
- 二、例ニ譽ケテ蝶類ト蛾類トノ異ナルヲ諸點ヲ記キ
- 三、呼吸器ノ衛生ニシテ知レル所ヲ述ベヨ
- 四、空氣及ビ水ノ成分ハ如何ナルモノゾ
- 五、夏時晴天ノ日庭園ニ水ヲ撒カバ冷涼ヲ感ズル理由如何
- 一、オキヲトメオキヲナ(菜種)トを比較セヨ
- 二、カヒコハツキテ知れる所ヲ記セ

四十年度

四十一年度

- 三、蛙は何故見ゆるか
- 四、食鹽の製法性質用途ヲ記セ
- 五、呼吸器の衛生法如何

地理 歴史

- 一、中國地方ノ鐵道線路ヲ略圖シ各鐵道名并ニ其起終點ノ地名ヲ記入スベシ
- 二、那須火山脈ニ就テ知レルトコロヲ記セ
- 三、豊臣氏海内統一ノ次第ヲ述ブベシ
- 四、徳川光圀ノ大義名分ヲ明ニセシ事實ヲ舉グベシ
- 五、平戸、生野、吉水神社、長濱
右所在地名并ニ之ニ關係セル歴史上ノ事實ヲ記入スベシ
- 一、大寶令ノ兵制ヲ述ベズ
- 二、條約改正ノ顛末ヲ述ブベシ

全後期

卅八年度
前期

地理 歴史

卅九年度

前編
第八号

- 三、墨表機寸清酒醬油ノ產地及仕向地ヲ舉グベシ
- 四、北海道ニ於ケル鐵道線路ノ略圖ヲ描キテ鐵道名ト著シキ驛名トヲ記入スベシ
- 五、箱崎、生駒山、長篠、五稜廓
 - 右所在地ト歴史上ノ事實トヲ述ブベシ
- 一、我國石炭ノ年産額並ニ主ナル産出地ヲ舉ゲヨ
- 二、廣島縣ト島根縣トノ地勢并ニ産物ヲ比較スベシ
- 三、大鹽平八郎並ニ伊能忠敬ノ略傳ヲ述ベヨ
- 四、吉宗將軍ノ殖産事業ヲ述ベヨ
- 五、平泉、津呂、種子島、修善寺
 - 右地理歴史上ノ事實ヲ述ベヨ
- 一、九州沿岸ニ於テ歴史上關係アル地名ヲ舉ゲテ知レルトコロヲ述ベヨ
- 二、豊徳太子ノ事蹟ヲ述ブベシ

四十年度

四十一年度

- 三、我國憲法發布ニ就キテ知レルトコロヲ述ベヨ
- 四、神戸港ノ繁盛ニ趣キシ原因ヲ述ベテ最近輸出入品ノ主ナルモノヲ舉ゲヨ
- 一、平安朝時代ノ國文學ニツキテ記セヨ
- 二、左ノ題目ニツキテ記述セヨ
 - 天津條約
 - 五攝家
 - 享保ノ治
 - 倭寇
- 三、我國ノ外國貿易ニツキテ知ル所ヲ記セヨ
- 四、地圖ヲ添ヘテ甲斐ノ國ノ地誌ヲ記載スベシ

體操

徒手各個運動、全連續運動全部、陸鈴體操第一、二演習中

小學校專科正教員

裁縫科 (筆答)

卅八年度
前期

- 一、裁縫科ト他學科トノ關係
- 二、並巾ノ布一反(二丈四尺五寸)ヲ以テ男物單衣羽織ノ裁方圖積リ方及ビ寸法ヲ記セ
- 三、友禪唐縮緬(一尺巾)一丈ヲ以テ左記ノ寸法ニヨリ一ツ身ヲ裁テ
袖丈 一尺四寸。袖巾 六寸。身巾 一尺。身丈 二尺二寸。衽巾 四寸
衿巾 一寸三分。
- 他ハ普通
- 四、男物袴羽織ノ縫方順序及ビ方法ヲ問フ

全 (實地)

男物縮入ノ袖ヲ縫フベシ

寸法(餘尺)袖口 五寸。袖附 四寸。袂丸 七分。

体操科 (普通)

- 一、美容術 四節 十五節 廿一節
- 二、徒手体操 第二部
- 三、陸鈴体操 第一部
- 四、球竿体操 第一部
- 五、棍棒体操 第一演習 (以上實地)
- 一、美容、徒手、陸鈴、球竿ノ各運動ノ速度ヲ問フ
- 二、初進ノ生徒ニ教授スルニツイテ特ニ注意スベキ心得ヲ問フ
- 三、体操教師ノ心得フベキ要件ヲ問フ (以上筆答)

全 (兵式)

- 一、徒手体操第二四教ノ各運動
- 二、各個教練 (徒手) (以上實地)
- 一、中隊教練中横隊ニ在ルトキ中隊長ノ位置及ビ各小隊長ノ位置ヲ示セ
- 二、中隊縦隊ニテ行進シツ、アルトキ敵騎ノ襲來ヲ受ケタルトキ探ルベキ隊形并ニ中隊長以下各幹部ノ動作ヲ詳述セヨ
- 三、器械体操ノ目的ヲ記セ (以上筆答)

圖畫科

- 一、動物寫生
- 二、各自ノ任意ニ適宜ノ畫ヲ描ケ
- 三、底面ヲ以テ水平面ニ立テ底面ノ一邊ハ垂直面ニ四十五度ヲナセル方錐ト其軸兩投象面ニ平行ニシテ脇面ハ皆兩投象面ニ四十五度ヲナセル正方形ト

自在書
用器書

ノ相貫體アリ兩軸一點ニ於テ相會セリ其投象圖ヲ求ム

- 四、方錐體ガ底面ニ於テ水平面ニ立チ底ノ一角ガ畫面ニ接シタルトキノ成角透視圖ヲ求ム

農業科 (實地)

- 一、左ノ實物ノ鑑定
蕃茄ノ苗、節成胡瓜ノ苗、除蟲菊ノ苗、甘藍ノ種子、菠薐草種子、甘藷大根、蕙苺種子、大麻種子、肥料智利硝石、硫酸アンモニア、過磷酸石灰、銕粕、大豆粕、
- 二、左ノ實物ノ名稱及ビ使用法
リーベンベルヒ甲拆器、唐鍬、雁爪、田打車、馬耙、萬能、鬮扇、稻扱連枷
- 三、小學校ニ實習ヲ課スルトセハ標本園試驗栽培地分擔實習地等ノ經營ニ付

如何ナル意見ヲ有スルカ

全 (理論)

- 一、葱頭ノ栽培法ヲ述ベヨ
- 二、播種ノ深淺ト氣候土質種子トノ關係
- 三、濃厚肥料及間接肥料トハ如何
- 四、産卵鶏肉用鶏ノ有名ナル品種各々ニテ事々
- 五、高等小學第四學年ノ生徒ニ土壤ノ種類トイフ題目ニテ二時間ノ教授ヲナサントス之レガ教案ヲ作ルベシ

修身科

- 一、友ニ交ル心得ヲ説ケ
- 二、倣約ノ徳ヲ説明スベシ

算術科

- 一、甲ノ所持金高ハ乙ノ所持金高ヨリモ多キ事貳百六拾四圓ニシテ丙ノ所持金高ヨリモ少キ事百貳拾四圓ナリ又丙ハ七百五拾六圓ヲ所持スト云フ甲ト乙トノ所持金高合計何程ナルカ
- 二、砂糖五百二十斤ノ代金四拾九圓四拾錢ナルトキハ一斤ノ代金如何
- 三、東京ヨリ神戸迄ハ三百七十六哩ナリ何里何町ナルカ但一哩ハ約十四町半ナリトス
- 四、一反ガ二丈八尺二寸ノ木綿布三反アリ今之ヲ以テ袖丈一尺八寸身丈三尺五寸ノ四ツ身ヲ裁タバ何枚裁テ得ベキカ且最後ノ一枚ノ身丈ハ何程トナルカ
- 五、或日ノ玄米相場上ハ一石ニ付拾七圓貳拾四錢下ハ拾五圓參拾九錢上中下ノ平均價ハ拾六圓參拾七錢ナリト云フ中米ハ一石ニ付何圓ナルカ

國語科 (作文)

一、端午の節句に人を招く文

全 (習字)

羽織地縮緬數種取揃へ御見せ下され度候

書跡隨意

全 (講讀)

一、凡そ人は其身分の重くなるほどつとめも重くなるものなり、然れば、下等の女子よりも、中等以上の女子のつとめの重きことは、いはずとも知れたることなり、かくの如くつとめの重き身分にてありながら、手足を勞し物産を作り出だし、國の富を助くる事は、却つて下等の女子に及ばず、さ

裁縫科
明治卅八年
後期

りとて、今下等の女子の如く、身體を働かす事は出來ず、然らばいかにせばよからん、そは世間の女子のために、手本となることこれなり。

右講讀但○印をなしたる字には讀假名を付くべし

一、小學校に於ける裁縫科授教材料の範圍及び其理由を問ふ

二、片面物中二尺長一丈一尺五寸を以て女羽織の裁方

三、九寸巾の木綿縮にて大人ツボン下を裁つには幾尺、要するか

四、木綿縮一反(二丈八尺)を以て四ツ身と一ツ身とを裁ち合すには如何せば宜しきか (但し四ツ身は筒袖とす)

右第二第三第四問は各其積り方裁ち方圖及各部の寸法を詳記すべし (以上筆答)

全 (實地)

男袴羽織の左半身を裁縫すべし

体操

但し實物の三分の一

170

体操科

普通

美容術 五 八 十二 十四 二十一ノ各節ノ運動

徒手体操 第一部及ビ二部ノ運動

懸鈴体操 第一部及ビ二部ノ運動

竿体操 第一部ノ運動

棍棒体操 第一演習 (以上實地)

一、身体疲勞ノ現象及之レニ對スル教育上ノ注意ヲ問フ

二、体操科教授上ノ注意ヲ問フ

三、棍棒体操ニ間隔ヲ取ルノ法ヲ圖解セヨ (筆答)

一、徒手体操 二、器械体操 三、各個教練 四、中隊教練 (實地)

一、連發村田銃ニ就キ名稱七個以上ヲ掲ゲヨ

兵式

二、器械体操ノ目的ヲ記セ (筆答)

修身科

一、教師の生徒に對する心掛

作文 (國語科)

一、菊見に友を誘ふ文

習字 (國語科)

影見つゝ心つくらふ人わらばいかに鏡もうれしからまし (字体隨意)

講讀 (國語科)

一、軍人がその生命を輕んじて戦ふはものものその君國のために外ならねば

作文、習字、講讀

171

その傷を負ひ或は病にかかりて戦ふこと能はざるものは敵味方の別なくあはれみ救はざるべからずこれ天道に合ひたる至善の行なり

右解釋し○印にはよみがなを附くべし

算術科

- 一、二百五十六本ノ柳ヲ三間ツ、隔テ、植ウルトキハ其兩端ノ距離如何
- 二、甲乙二數アリ乙ハ甲ヨリ二十七小ニシテ其和五十九ナリ二數各如何
- 三、兄弟二人アリ兄ハ月俸五十圓弟ハ四十五圓ナリ今兄ハ毎月四十二圓ヲ費シ弟ハ四十八圓ヲ費シ且兄ハ弟ノ負債ヲ拂フトキハ一ケ年ニ尙何圓ヲ餘ス
- 四、毎日十四里宛行ケバ百四十八里ノ道ヲ何日目ニ達スルカ且最終ノ日ノ歩行里數如何

農業科 (理論)

- 一、大麥ノ黒奴豫防法ヲ述ベヨ
- 二、桑苗ノ蕃殖ニ付知ル所ヲ記セ
- 三、空氣中ノ遊離窒素ハ農業上如何ナル場合ニ利用セラル、カ
- 四、乳牛ノ特徴及ビ有名ナル品種ノ名稱ニテ舉ゲヨ
- 五、施肥上三要素ノ何レノ養分ガ必要ナルカヲ知ラント欲セバ如何ナル實驗ヲナスベキカ
- 六、高等小學四學年生ニ中耕ト云フ題目ニテ一時間ノ教授ヲナサントス之レガ教案ヲ作レ

全 (實地)

- 一、左ノ實物ヲ示シ名稱ヲ問フ

オート麥種子、レットクロパー種子、玉葱種子、蚕豆種子、三化螟虫、浮塵子、大豆粕、硫酸アンモニア

二、左ノ器具ヲ示シ名稱使用法ヲ問フ

新式撰種計、發芽器、益蟲保護器、養蚕用乾濕計、土壤試驗用鉢

三、圃場試驗

麥畑ノ整地

四、左ノ二件ニツキ試問

小學校ニ實習地ヲ設クルトセバ受持實習地。試驗栽培地。標本園。果樹園ノ經營如何

五、實習教授ノ目的

裁縫科 (筆答)

卅九年度

一、普通教育ニ裁縫科ヲ課スル目的如何

二、发襟縮幅一尺二寸長一丈六尺ヲ以テ中裁(四ツ身相當)服裁方積リ方

ツ問フ 但袖丈一尺六寸

三、二丈七尺三寸ノ縮反物アリ織出ヨリ五尺耳ヨリ一寸ノ所ニ疵一ヶ所其所

ヨリ七尺六寸以前ノ疵ト同ジ側ニ耳ヨリ二寸七分ノ所ニ汚點アリ之ヲ以テ

女單衣ノ裁チ方積リ方ヲ問フ 但袖丈一尺五寸 身丈三尺九寸

四、成人木綿縮一反同時ニ裏ヲ求メ男物袷羽織ヲ拵ラヘントス其裏ハ幾尺ヲ

要スルヤ裏ノ裁チ方積リ方ヲ問フ

袖丈 一尺四寸五分 身丈 二尺七寸 (仕立上)

其他ハ普通

右第二問第三問第四問共ニ積リ方裁チ方圖及ビ各部ノ寸法ヲ詳記スベシ

全 (實地)

袷服ノ片身頃ヲ縫フベシ (袖無し)

裁 縫

袖付 七寸、小八ッ口三寸、袴下二尺、袴巾三寸、袴下六寸、靴 六分
寸法ハ總テ三分ノ一

躰 操 科

普通

- 一、美容術 三 五 十二 十八各節ノ運動
- 二、徒身体操 第一部全体ノ運動
- 三、陸鈴体操 第一部全体ノ運動
- 四、球竿体操 第一部全体ノ運動
- 五、棍棒体操 第一演習 (以上實地)
- 一、高等小學校第一學年ニ授クベキ普通体操及遊戲ノ一時間ニ於ケル教授案ヲ作レ

式兵

- 二、運動ト衛生トノ關係ニ就イテ述ベヨ (以上筆答)
- 一、徒身体操 二、執銃各個教練 三、器械体操 (初歩) (以上實地)
- 一、器械体操ノ目的ヲ述ベヨ
- 二、戰備行軍及各部ノ名稱ヲ略記セヨ
- 三、彈道一般ノ形狀及彈道構成ノ理由ニ付知ルトコロヲ述ベヨ (以上筆答)

音 樂 科 (理論)

- 一、拍子ノ種類ト其相異スル所ヲ記セ
- 二、單縱線ト複縱線トノ用法如何
- 三、普通和絃トハ如何ナルモノカ
- 四、英國ドレミ法ト從來ノ1 2 3 法トイツレガ可ナルカ其理由如何
- 五、大譜表トハ如何ナルモノカ
- 六、嬰種長音階ヲ作成シテ其定義ヲ記セ

全 (唱歌)

- 一、音階 二、菊 三、高嶺 四、岩もる水 五、真樂の都

全 (樂器用法)

- 一、小學唱歌集第貳編中任意ノ六曲
- 二、高嶺 三、音階 四、さけ花

農業科 (理論)

- 一、甘蔗栽培法ノ大要ヲ述ベ併テ結晶糖ノ生産ト肥料成分トノ關係ニ付知ル所ヲ記セヨ
- 二、水糖試驗ノ目的及ビ方法ヲ問フ
- 三、空氣中ノ遊離窒素ハ農業上如何ニ利用セラル、カ

全

- 四、蠶兒就眠及眠起ノ際ニ於ケル取扱上ノ注意ヲ述ベヨ
- 五、乳牛ノ特徴及著名ナル品種ノ名稱二個ヲ舉ゲヨ
- 六、高等小學第三學年生徒ニ麥ノ中耕ト云フ題目ニテ一時間ノ教授ヲナサントス之レガ教案ヲ作レ

全 (實地)

- 一、左ノ實物ヲ示シ名稱ヲ問フ
過磷酸石灰、硫酸アモニア、大豆粕、葱頭、葱以、牛蒡及紫雲英ノ種子、赤話草、蕃茄ノ苗、甘藍ノ苗、
- 二、左ノ器具ヲ示シ名稱及使用法ヲ問フ
リーベンベルヒノ發芽器、益蟲保護器、田打車、颯扇、蠶座及蠶網、ホーレーキ、萬能、蟹爪、稻扱、連枷

四十年度

國語科 (習字)

梅花やうやう咲きそめ候 (字林(隨意))

修身科

- 一、獨り慎むノ心得ヲ説ケ
- 二、朋友ニ交ルノ道ヲ説明スベシ

國語科 (講讀)

我が國ノ[○]機織製造業[○]、明治ノ初年、兵庫ニ起レルモノヲ始トス。
 其ノ後清水誠トイフ人、東京ニ新機社ヲ設ケシヨリ、[○]業ニ從事スルモノ多クナリ、次第ニ、[○]進歩發達シテ、製造所ノ設ケラルモノ相次ギ、[○]現今ニテハ一千萬圓ニ餘レル産額ヲ見ルニ至レリ。中ニ就キテ、[○]最盛ナルハ、

兵庫縣ニシテ大阪愛知ノ二縣コレニ次ギ岡山、東京、香川ノ諸縣ノ如キモ其産、マタ少カラズ

全 (作文)

飯の炊き方を問はれしに答ふる文

算術科

- 一、一晝夜半ニ百二十六里行ク船ハ一時間ニ幾ラ行ク割合ナルカ
- 二、一尺二十錢宛ニテ買ヒタル切レテ四錢宛利シテ一丈五尺賣ラバ賣代金ハ何程ナルカ利金ハ何程カ

裁縫科 (實地)

與フル所ノ布ニテ綿入右袖口ト袂ノ丸ミトヲ作ルベシ

但シ口明ハ六才ニテ袂ノ九ミハ五分 (右二時間)

全 (筆答)

- 一、綿入服ノ襟ヲ教授スル教授案ヲ作ルベシ
- 二、一丈五尺ノ並幅物ニテ中裁ノ男袴ヲ裁テ、コレガ仕立上寸法ヲ筆記セ
- 三、仕立上ノ身丈二尺七寸、袖丈一尺四寸、前下リ一寸五分ノ袖羽織ヲ調製セントスルニ當リ表地トシテ並幅二丈九尺アリ裏地何程ヲ要スルヤ、其ノ積方ト裁方圖トヲ記セ (右二時間)

農 業 科 (實地)

- 一、左ノ實物ノ鑑定
紫雲英ノ種子、クロバーノ種子、オート麥ノ種子、過磷酸石灰、硫酸アンモニヤ、

二、左ノ實物ノ名稱及使用法

發芽歩合試験器、養蠶用乾濕計、水耕試験器、益蟲保護器

全 (筆答)

- 一、改良苗代トハ如何ナルモノゾ
- 二、甘藍ノ栽培ニツキ知ル所ヲ述ベヨ
- 三、果樹中介殼蟲ノ被害ノ著ルシキモノ二三ヲ舉ゲ併テ之ガ豫防驅除法ヲ記セ
- 四、肥料三要素試験ノ目的及方法ヲ問フ
- 五、教題「螟蟲」ニ付キ高等小學第二學年ノ程度ニ於テ二時間ノ豫定ヲ以テ教案ヲ作レ

体 操 科 (普通)

實地筆答

〇 操

一八四

- 一、徒手各個運動 二、啞鈴体操第二 三、棍棒体操第一演習
- 一、基本的形式各項ニ付キ簡單ナル説明ヲナスベシ
- 二、遊技教材選定ニ付キ注意スベキ要點ヲ舉ゲヨ

全 (兵式)

- 一、徒手体操 二、執銃各個教練 三、執銃密集教練 (實地)

- 一、運動ノ呼吸器ニ及ボス効益ヲ概説シ且徒手体操中此レニ關係多キ動作ヲ

列舉セヨ

- 二、小隊ノ側面縱隊ニ於ケル方向變換ノ方法ヲ詳説スベシ (以上筆答)

香川縣
小學校

教員檢定試驗問題集

終

小香川縣 教員檢定試驗問題答案

修身科

(一) 先づ本務の本質及び起源を論じ其の間に於て法律上の義務との異同の點を述べし本務とは吾人が世に處してつくさざるべからざる本分の意にして爲さざるべからざる行爲と爲すべからざる行爲とを包含す例へば君に對して忠ならざるべからず親に對して不孝なるべからざるは吾人の當に盡さるべからざる本分にしてこれ即本務なり而してこれには必ず拘束の感情を伴ふものとす

本務の内容は決して一定不動のものにあらずして人により時により所に隨ひて相違あるものとす學生には學生の本務官吏には官吏の本務軍人には軍人の本務あるのみならず同じく忠と稱するも軍人の忠と常人の忠とは異なる